

令和元年度 事業報告書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

令和元年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 事業報告

本会では、長泉町地域福祉活動計画及び令和元年度（平成31年度）の事業計画に基づき、「ささえあう みんなが笑顔に なれるまち」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら、町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

令和2年5月28日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会 長 永 井 寛

令和元年度 事業報告書 目次

ページ

I 社会福祉事業

1 法人本部拠点区分

1－1 法人運営事業	1
1－2 地域福祉活動事業	1 2
1－3 福祉総合相談事業	2 6
1－4 共同募金助成金事業	3 2
1－5 手話通訳者派遣事業	3 4
1－6 心身障害児放課後対策事業	3 6
1－7 小口資金貸付事業	3 8
1－8 生活支援体制整備事業	3 9
1－9 認知症初期集中支援チーム事業	4 4
1－10 権利擁護推進事業	4 6

2 老人福祉センター拠点区分

2－1 福社会館事業	4 7
------------	-----

3 介護サービス事業拠点区分

3－1 居宅介護支援事業	5 7
3－2 指定通所介護事業	5 9
3－3 指定認知症対応型通所介護事業	6 4
3－4 指定訪問介護事業	6 7
3－5 障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業	6 9
3－6 移動支援事業	7 0
3－7 地域活動支援センター事業	7 1

II 公益事業

1 在宅福祉総合センター事業	7 3
2 在宅福祉総合センター食堂事業	7 8

I 社会福祉事業

1 法人本部

1－1 法人運営事業

1 会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

(1) 会員募集結果（令和2年3月31日現在）

令和元年度	会員数	会費収入
普通会员	12,257 口	3,677,000 円
特別会員	245 口	245,000 円
合 計	12,502 口	3,922,000 円
前年比	243 口	59,600 円

(2) 会員数の推移

年 度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
普通会员	11,995	11,725	11,861
特別会員	264	229	239
合 計	12,259	11,954	12,100
会費収入	3,862,500 円	3,760,500 円	3,797,300 円

【事業の成果】

各区の協力をいただき今年度の普通会员は前年度比 262 口の増となった。

2 定款・規程等の整備

(1) 定款一部改正

「生活支援体制整備事業」「成年後見に関する事業」を追加した。

・令和元年7月5日認可、7月10日登記

(2) 諸規程の制定

法人後見実施体制を整備するため、下記の要綱を制定した。

「社会福祉法人長泉町社会福祉協議会法人後見実施要綱」

「裾野市・長泉町・清水町成年後見運営委員会設置要綱」

・令和2年3月17日第4回理事会決議

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 出席者 10 名／定数 11 名 監事 2 名

ア 期 日 5 月 30 日（木）

イ 議 題

（報告事項）

第1号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

（決議事項）

第2号議案 事務局長及び施設長等の選任

第3号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の
選任

第4号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者の
推薦

第5号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正

第6号議案 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報
告の認定

第7号議案 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決
算の認定・決算監査報告

第8号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第1回）の認定

第9号議案 令和元年度定時評議員会の開催

第2回理事会 出席者 10 名／定数 11 名 監事 2 名

ア 期 日 6 月 17 日（月）

イ 議 題

（報告事項）

第10号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

（決議事項）

第11号議案 会長、副会長の選定

第12号議案 常務理事の選定

第13号議案 顧問の委嘱

第14号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任・解任
委員会委員の選任

第3回理事会 出席者 7 名／定数 11 名 監事 3 名

ア 期 日 11 月 25 日（月）

イ 議 題

（報告事項）

第15号議案 介護保険事業に関わる実地指導の結果及び報告

第16号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

- 第 17 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会の中
間事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告
- 第 18 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計業務等の点検
並びに適正化の取り組みについて（報告）
- （決議事項）
- 第 19 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者
の推薦
- 第 20 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改
正
- 第 21 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第 2 回）の認定
- 第 22 号議案 令和元年度臨時評議員会（第 1 回）の開催

第 4 回理事会 出席者 8 名／定数 11 名 監事 2 名

ア 期 日 3 月 17 日（火）

イ 議 題

（報告事項）

- 第 23 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

（決議事項）

- 第 24 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任
- 第 25 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者
の推薦
- 第 26 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会法人後見実施要綱
の制定
- 第 27 号議案 裾野市・長泉町・清水町成年後見運営委員会設置要綱
の制定
- 第 28 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第 3 回）の認定
- 第 29 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予
算の執行及び契約の締結
- 第 30 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計
画
- 第 31 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予
算
- 第 32 号議案 長泉町指定管理事業に伴う外部委託業務の長期継続契
約
- 第 33 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予
算の執行及び契約の締結
- 第 34 号議案 令和元年度臨時評議員会（第 2 回）の開催

(2) 評議員会

① 定時評議員会 出席者 11 名／定数 15 名

ア 期 日 6 月 17 日（月）

イ 議 題

（報告事項）

第 1 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事務局長及び施設
長等の選任

（決議事項）

第 2 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員の選任

第 3 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正

第 4 号議案 平成 30 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報
告の認定

第 5 号議案 平成 30 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決
算の認定・決算監査報告

第 6 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第 1 回）の認定

② 第 1 回臨時評議員会 出席者 14 名／定数 15 名

ア 期 日 12 月 3 日（火）

イ 議 題

（報告事項）

第 7 号議案 介護保険事業に関わる実地指導の結果及び報告

第 8 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会の中間
事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

第 9 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計業務等の点検
並びに適正化の取り組みについて（報告）

第 10 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改
正

（決議事項）

第 11 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第 2 回）の認定

③ 第 2 回臨時評議員会 出席者 14 名／定数 15 名

ア 期 日 3 月 25 日（水）

イ 議 題

（報告事項）

第 12 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会法人後見実施要綱
の制定

第 13 号議案 裾野市・長泉町・清水町成年後見運営委員会設置要綱

の制定

(決議事項)

- 第 14 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員の選任
- 第 15 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 3 回）の認定
- 第 16 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画
- 第 17 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

(3) 評議員選任・解任委員会

① 第 1 回評議員選任・解任委員会

期 日 5 月 30 日（木） 出席者 3 名／定数 3 名

② 第 2 回評議員選任・解任委員会

期 日 11 月 25 日（月） 出席者 3 名／定数 3 名

③ 第 3 回評議員選任・解任委員会

期 日 3 月 17 日（火） 出席者 3 名／定数 3 名

4 監事監査及び行政機関監査等の実施状況

(1) 平成 30 年度決算監査

ア 期 日 5 月 20 日（月）

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 11 名

ウ 指摘事項 なし

(2) 令和元年度中間監査

ア 期 日 11 月 13 日（水）

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 12 名

ウ 指摘事項 なし

5 役員の研修等参加状況

(1) 市町社会福祉協議会監事研修会

ア 期 日 4 月 17 日（水）

イ 参加者 監事 1 名

(2) 福祉新聞セミナー

ア 期 日 9 月 25 日（水）

イ 参加者 会長、副会長、事務局長

(3) 市町社会福祉協議会監事会議

ア 期 日 1 月 17 日（金）

イ 参加者 監事 2 名

6 苦情解決窓口設置事業

福祉サービスに対する利用者からの苦情や意見・要望を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図る観点から苦情解決窓口を設置し、次の体制で対応を図った。

(1) 組織体制

苦情解決責任者	渡邊知明（～令和1年5月31日） 植松幸則（令和1年6月1日～）
苦情受付担当者	前田宏介、栗原進太郎
第三者委員	須田滋郎、大嶋優子

（第三者委員任期：平成31年4月26日から令和3年4月25日）

(2) 苦情・要望解決の状況

施設名	内 容										計	
	ケア関係		嗜好・選択等		財産管理等		制度・施策等		その他			
	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望
福祉会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いずみの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
わかあゆ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【事業の成果】

当期中の苦情、要望は0件であった。引き続き、きめ細やかな対応に努めていきたい。

7 職員数の状況等に関する事項

(1) 職員数の状況

（単位：人）

基 準 日		正 規	嘱 託	パート	登 録	合 計
平成31年4月1日		19	8	19	9	55
上半期中における増減	増	1	1	3	0	
	減	1	0	2	0	
令和元年9月30日		19	9	20	9	57
下半期中における増減	増	4	2	3	2	
	減	1	3	3	0	
令和2年4月1日		22	8	20	11	61

(2) 研修参加状況 （別表による）

(3) 労働安全衛生に関する事項

① 職員健康診断

ア 期 日 8月7・8日

イ 受診者 52名

② ストレスチェック

ア 期 日 8月7・8日

イ 受験者 38名

令和元年度 研修会等参加状況（法人運営事業他）

長泉町社会福祉協議会事務局

日 時	内 容	参加者
4月19日	県ふじのくに型学びの心育成支援事業打合せ	事務局職員 1 名
4月24日	東部5市3町災害ボランティア連絡会	事務局職員 1 名
5月14日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム全体・ブロック会議	事務局職員 1 名
5月16日	令和元年度市町社会福祉協議会事務局長会議	事務局職員 1 名
5月21日	令和元年度日常生活自立支援事業新任専門員研修	事務局職員 1 名
5月24日	沼津地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	事務局職員 1 名
7月8日	令和元年度静岡県の地域福祉を考えるブロック会議	事務局職員 1 名
7月16日	令和元年度ふじのくに地域共生フォーラム	事務局職員 1 名
7月17日・18日	令和元年度日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会	事務局職員 1 名
7月23日	民生委員・児童委員協議会研修「地域との連携」	事務局職員 1 名
7月29日	令和元年度市町社会福祉協議会日常生活自立支援事業専門員連絡会	事務局職員 2 名
8月1日	成年後見啓発講演会	事務局 長 事務局職員 2 名
8月2日	成年後見制度利用促進セミナー	事務局職員 1 名
8月26日・27日	令和元年度生活支援コーディネーター養成講座研修	事務局職員 1 名
8月28日	令和元年度赤い羽根共同募金勉強会	事務局職員 1 名
9月2日	日常生活自立支援事業運営監視合議体	事務局職員 2 名
9月4日	令和元年度市町社会福祉協議会総務担当者会議	事務局 長 事務局職員 1 名
9月5日・6日	令和元年度地域福祉コーディネーターリーダー研修会	事務局職員 1 名
9月9日・10日	いきがい・助け合いサミットin大阪	事務局職員 1 名
9月10日	静岡県成年後見制度利用促進協議会	事務局職員 1 名
9月25日	福祉新聞セミナー	会長・副会長 1 名 事務局 長
9月25日	権利擁護支援従事者研修	事務局職員 1 名
9月27日	第4回成年後見制度利用促進セミナー	事務局職員 1 名
9月27日	令和元年度ひきこもりサポーター養成研修	事務局職員 1 名
10月17日	人事担当者の基本実務研修	事務局 長
10月24日	令和元年度 静岡県健康福祉大会	会長・副会長 2 名 事務局長・職員 1 名

令和元年度 研修会等参加状況（法人運営事業他）

長泉町社会福祉協議会事務局

日 時	内 容	参加者
10月31日	令和元年度地域ケア会議促進活用研修	事務局職員 1 名
11月5日	テーマ型募金に向けた地域福祉とファンドレイジング勉強会	事務局職員 1 名
11月18日～ 1月16日	令和元年度認知症介護実践研修「実践リーダー研修」（全10日）	事務局職員 1 名
11月11日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム運営委員会	事務局職員 1 名
11月12日	令和元年度第2回東部ブロック市町村社協連絡会	事務局職員 1 名
11月13日	県内社会福祉協議会の職員による横領事件に対する緊急会議	事務局 長 事務局職員 1 名
11月15日	令和元年度市町社会福祉協議会災害対応研修会	事務局職員 1 名
11月15日	令和元年度生活困窮者自立支援制度相談業務従事者連絡会 （生活困窮者自立支援ネットワーク事業）	事務局職員 1 名
11月19日	令和元年度東部地域災害ボランティア連絡会	事務局職員 1 名
11月26日	東部地域生活支援コーディネーター連絡会	事務局職員 1 名
12月9日	内閣府「行政とNP0・ボランティア等との三者連携・協働訓練」	事務局職員 1 名
12月11日	日常生活者自立支援事業研修会	事務局職員 1 名
1月13日	生活支援コーディネーターの地域福祉実践	事務局職員 1 名
1月17日	生活支援・介護予防マッチング事業	事務局職員 1 名
1月22日	市町社会福祉協議会権利擁護事業業務責任者・担当者会議	事務局 長 事務局職員 1 名
1月24日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム全体会	事務局職員 1 名
1月31日	東部地域認知症総合支援事業連絡会	事務局職員 1 名
2月17日	令和元年度静岡DCAT登録員スキルアップ研修会	事務局職員 1 名
2月17・18日	令和元年度市町社会福祉協議会決算実務研修会	事務局職員 1 名
2月18日	令和元年度市町社会福祉協議会決算実務研修会	事務局 長
2月25日	移動サービス創出支援事業にかかる事例報告会	事務局職員 1 名
3月4日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム運営委員会	事務局 長
3月5日	ふじのくに型学びの心育成事業の振り返りと来年度に向けた会議	事務局職員 2 名
3月9日	成年後見推進委員会	事務局職員 1 名
3月18日	新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活福祉資金緊急小口資金等の 特例貸付実施に伴う緊急会議	事務局職員 1 名

令和元年度 研修会等参加状況

在宅福祉総合センターいずみの郷

日 時	内 容	参 加 者
4月11日	主任介護支援専門員連絡協議会	居 宅 介 護 支 援 1 名
4月23日	主任介護支援専門員連絡協議会役員会	居 宅 介 護 支 援 1 名
5月10日	第1回たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会 (第1層協議体合同開催)	居 宅 介 護 支 援 2 名
5月14日	ステップの会（北小区居宅介護支援事業所）勉強会	居 宅 介 護 支 援 3 名
5月16日	長泉町ケアマネージャー連絡協議会	居 宅 介 護 支 援 4 名
5月17日	モクオハナ事例検討会	居 宅 介 護 支 援 2 名
5月17日	わくわくケアへの会（長小区居宅介護支援事業所）勉強会	居 宅 介 護 支 援 4 名
5月20日	清水町・長泉町在宅医療推進ネットワーク研修会	居 宅 介 護 支 援 3 名
5月24日	岡村記念病院医療介護職員勉強会	居 宅 介 護 支 援 4 名
6月9日	ファシリテーター養成講座	居 宅 介 護 支 援 2 名
6月11日	主任介護支援専門員連絡協議会	居 宅 介 護 支 援 1 名
6月13日	長泉町介護支援専門員初任者等研修	居 宅 介 護 支 援 2 名
7月9日	ステップの会（北小区居宅介護支援事業所）勉強会	居 宅 介 護 支 援 3 名
7月10日	わくわくケアへの会（長小区居宅介護支援事業所）勉強会	居 宅 介 護 支 援 4 名
7月11日	長泉町介護支援専門員初任者等研修	居 宅 介 護 支 援 3 名
7月17日	長泉町ケアマネージャー連絡協議会	居 宅 介 護 支 援 4 名
7月18日	長泉町介護支援専門員初任者等研修	居 宅 介 護 支 援 2 名
8月8日	長泉町介護支援専門員初任者等研修	居 宅 介 護 支 援 2 名
8月15日	長泉町介護支援専門員初任者等研修	居 宅 介 護 支 援 2 名
8月22日～10月3日	介護支援専門員更新研修（全6日間）	居 宅 介 護 支 援 1 名
8月30日	岡村記念病院事例検討会	居 宅 介 護 支 援 2 名
8月31日	緩和ケアを取り入れた介護研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
9月2日	介護予防ケアマネジメント新任者研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
9月5日	わくわくケアへの会（長小区居宅介護支援事業所）勉強会	居 宅 介 護 支 援 4 名
9月17日	介護予防従事者研修会	居 宅 介 護 支 援 1 名
9月21日	介護支援専門員生涯研修・経験者研修	居 宅 介 護 支 援 1 名

令和元年度 研修会等参加状況

在宅福祉総合センターいずみの郷

日 時	内 容	参 加 者
10月17日～2月25日	主任介護支援専門員研修（全13日間）	居 宅 介 護 支 援 1 名
11月27日	介護支援専門員リーダーフォローアップ研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
12月19・20日	介護予防ケアマネジメント現任者研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
8月9日	相談員のための支援力アップ講座	指 定 通 所 介 護 1 名
8月30日	介護記録の書き方・活かし方講座	指 定 通 所 介 護 1 名
7月12日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会サービス提供責任者研修	指 定 通 所 介 護 1 名
10月2日	フットケア講座	指 定 通 所 介 護 1 名
10月3日	福祉職場のストレスマネジメント講座	指 定 通 所 介 護 1 名
10月7日	楽しく笑顔になれるリクリエーション講座	指 定 通 所 介 護 1 名
6月3日	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	認知症対応型通所介護1名
6月11日～8月29日	認知症介護実践研修（全6日間）	認知症対応型通所介護1名
6月20・21日	介護技術講座（基礎編）	認知症対応型通所介護1名
5月21日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会理事会	訪 問 介 護 1 名
10月11日	よりよい高齢者ケアを考えるセミナー	訪 問 介 護 1 名
11月14日	ホームヘルパー連絡協議会理事会	訪 問 介 護 1 名
5月28日	精神保健福祉関連職員研修	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
6月28日～7月12日	同行援護従事者養成研修（全3日間）	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
7月3日	同行援護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護2名
11月14日	重度訪問介護従業者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護2名
12月18日	障害児・者福祉サービス事業者説明会	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
9月19日	介護保険サービス提供事業者説明会（集団指導）	事 務 局 長 居 宅 介 護 支 援 1 名 指 定 通 所 介 護 1 名 訪 問 介 護 2 名
6月3日	社会福祉法人簿記入門講座	セ ン タ ー 1 名
2月17・18日	市町社会福祉協議会決算実務研修会	セ ン タ ー 1 名

1－2 地域福祉活動事業

1 地域福祉活動計画における4つの施策の方向の推進と調査研究事業

(1) 施策の方向1「誰もが安心して生活できる地域での居場所づくり」

(1)－1 高齢者の活躍の場の提供

地域で様々な活動が出来る場づくり、参加できる環境づくり、地域福祉活動の担い手として活躍できる場の一つとして、食を通じた男性同士の交流や、ボランティア活動のきっかけづくりとして男の料理教室を開催した。

① 「男の料理教室」～そば打ち～

- ・期 日 12月8日（日）
- ・対 象 町内在住、在勤の男性
- ・参加者 14名



「男の料理教室」

(1)－2 みんなで悩みを話し合える機会づくり

① 小地域福祉活動推進事業

地域の福祉課題の解決は地域の人たちが中心になって行うことを目標に、区長を通じて区単位にサロン活動の普及を推進した。

また、活動の担い手であるボランティアの養成を図り、住民主体によるきめの細かい福祉活動の推進ができるよう支援を行った。

ア 活動区 31区

イ 活動費の助成

- ・年額 50,000円/区

ウ 連絡会の開催

- ・開催日 4月25日（木）

- ・参加者 59名

- ・内 容 助成金交付手続き、情報交換、各種講座案内



「小地域福祉活動連絡会」

② 小地域福祉活動レクリエーション研修会

- ・第1回 9月4日（水）
- ・参加者 30名（15区）
- ・第2回 11月6日（水）
- ・参加者 19名（9区）



「レクリエーション研修会」

- ・講 師 内藤ルミ子氏（レクリエーションインストラクター）

- ・内 容 小地域福祉活動実践者等を対象に、サロンで楽しむレクリエーション講座として「地域でできる簡単レクリエーション」を開催し、意義と技術の研修を行った。

③ サロン活動の支援

地域の公民館に出向き、介護予防、認知症予防、閉じこもりの解消、交流などを目的にレクリエーションや簡単な体操などを行った。

なお、レクリエーションなどは健康増進課（スポーツ推進員）とシニ

アクラブ長泉（活動推進相談員）に協力を得ており、本会職員は主に連絡調整や道具貸出、送迎、運搬をしている。

また、今年度はレクリエーション用品（プッシュリング、ボッチャ等）の買い替えを行い整備した。

<事例紹介>



「元長窪区」：月1回、第3水曜日



「谷津区」：月1回



「南一色区」：月1回、第3木曜日



「原区」：月1回、第4水曜日



「三軒家区」：月1回



「杉原区」：月1回

(1)－3 気軽に利用できる地域の子育て支援組織の拡充

未就園児の子どもや保護者がふれあう場づくりを、小地域福祉活動の一環として活動を支援、また、運営協力者の発掘や人材育成に取り組む。

① 三軒家区&エンゼル西区（5年目）

各区の関係者等と小地域福祉活動が連携し、三軒家区公民館を使用し三軒家区・エンゼル西区内の親子に遊び場を提供している。旧民生委員を中心に区長、民生委員、ボランティアが運営し、身近な地域で気軽に行える子育て支援の一つとして事業を行っている。

【事業の成果と課題】

1 高齢者の活動の場の提供

事業の目標の一つに「男性ボランティアの発掘」をあげており、参加者にボランティア講座を案内したところ2名の方が参加された。しかしながら、継続的なボランティア活動に繋がるのが難しく、ボランティア活動のニーズ把握とマッチングが今後の課題である。

2 サロン活動の支援

全国的にもサロン活動については、運営の後継者不足や新規利用者の減少等の問題があるが、この地域においても同様の課題がある。そのようななか、今年度から小地域福祉活動の取組を再開した区もあり、そこについては生活支援コーディネーターとともに活動支援を行った。

今後もスポーツ推進員や生活支援コーディネーターと連携し、活動内容の充実を図るとともに、活動の自立に向けて地域福祉推進者との協働を図っていきたい。

(2) 施策の方向2「地域福祉を担う人づくり」

(2)ー1 福祉の心を育む力

日頃から地域でのあいさつや声かけ、顔の見える関係となるよう心がける地域づくりと、子どもの頃から、高齢者や障がいのある人とのふれあいを通じて、福祉の心を醸成・育成するとともに、様々なボランティア団体への支援、研修会や体験講座などを開催し、福祉の担い手の育成を図った。

① 福祉教育実践校事業

児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ福祉を進めるため、福祉教育実践校活動を推進した。

指定校	実 施 期 間
長泉小学校	通算25年目
南小学校	通算26年目
北小学校	通算25年目
長泉中学校	通算26年目
北中学校	通算25年目
知徳高等学校	通算24年目

ア 活動費の助成 1校あたり年額100,000円

高齢者、妊婦疑似体験セット、車いすスロープ、福祉講演会講師料、点字ブロックセット、白杖、タイムタイマー、福祉施設視察研修費他

イ 担当者打合せ会

福祉教育の円滑な推進を図るために関係者の打合せ会を開催した。

- ・開催日 6月13日（木）
- ・会 場 いずみの郷
- ・参加者 11名（学校関係6名、福祉施設関係5名）

ウ 活動の相談、支援

- ・学校に教材として車椅子や白杖を貸し出す際、使用方法の説明を教員に行った。
- ・北小学校3年部から車椅子利用者の講演依頼を受け、長泉町身体障害者福祉会と調整した。

エ 静岡県社会福祉協議会主催「令和元年度東部地区福祉教育研修会」
教員や当事者講師等を対象に、福祉教育への理解を深め、より充実した活動の一助となるよう実践事例を含んだ研修会を共催で行った。

- ・開催日 6月13日（木）
- ・会場 いずみの郷
- ・参加者 14名

② 夏休み中学生福祉体験学習

町内の中学生を対象に、福祉施設等で1～3日間の体験をすることにより、福祉に対する理解を深めるとともに社会性を培うことを目的に実施した。

ア 実施期間 7月25日～8月25日のうち施設の指定する1～3日

イ 参加合計 22名

ウ 協力施設 児童関係 中央保育園、竹原保育園、あそか子ども園、このはな保育園

介護関係 いずみの郷、モク・オハナ、さつき園、博寿園

障がい関係 悠雲寮、ほほえみ&みのり工房、わかあゆ

エ 内 容

町内中学生を対象に、施設従事者や利用者と接し生きることの尊さやボランティア、福祉に対する理解を深めることを目的として実施した。

保育園では保育者の手伝い・園児の世話・園舎内外の清掃、高齢者福祉施設では、話し相手・配膳・レクリエーションの手伝い、障がい者福祉施設では、利用者支援を行った。

(2)ー2 福祉を担う人づくり

① ボランティア団体支援

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームの貸し出しを行った。

なお、ボランティア団体を把握し、連絡調整を総合的に行った。

※長泉町ボランティア連絡会加入団体

- ・団体数 34団体（前年度33団体）
- ・会員数 774名（前年度比15名減）

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため広報啓発活動を行った。

ア 『社協だより』…＜ボランティア情報＞

- イ ホームページ…ボランティア情報（ボランティアとは・団体紹介）
- ウ ボランティア情報館内掲示板…福祉会館いずみの郷連絡通路設置

③ ボランティア活動支援事業

ア ボランティア保険への加入

ボランティア活動をしている個人や団体からの相談に応じ、全社協のボランティア保険へ加入事務の手続きを行った。

- ・加入件数：個人 8 件、団体 13 件
- ・加入者数：332 人

イ 社協バスの運行による活動支援

ボランティア活動時の送迎や視察研修時の交通手段として、社協バスを運行し活動を支援した。

ウ 福祉会館会議室等の利用料減免

登録ボランティア団体に対し、福祉会館会議室等の利用料減免を行った。

エ 収集品の受け入れ窓口及び送料の負担

使用済み切手、使い古しの木綿の布、牛乳パック、プルタブの収集を行った。収集品はボランティアにより整理され、関係機関へ届けられた。収集品を関係機関に郵送する際は、必要な送料を負担している。

年度途中で受入先の事情により、牛乳パック、プルタブの収集は終了となった。

オ 給食ボランティア衛生管理

給食ボランティアを対象に検便を行い、食中毒の防止と健康状態の把握を行った。

④ ボランティア相談事業

ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等 18 件の相談及び需要調整を行った。

⑤ 関係機関・団体との連携

ア 長泉町ボランティア連絡会事務局

町内のボランティアグループが協働してボランティア活動の振興を図ることを目的に設立した長泉町ボランティア連絡会への支援を行った。

- ・事業等の運営に対する支援（正副会長会、理事会の開催等）
- ・事業運営費の補助（20 万円）

イ 福祉施設との連携と情報の共有体制の確立

より効果的な地域福祉活動を進めるために、福祉施設との連絡調整に努めた。

- ・ボランティアの斡旋、調整
- ・傾聴ボランティア活動の調整（町内高齢者福祉施設等）
- ・町内小、中、高等学校、町内各施設との情報交換

⑥ 「ファシリテーション講座」

- ・開催日：6月9日（土）
- ・場 所：福社会館
- ・参加者：14名
- ・講 師：NPO 法人日本ファシリテーション協会
フェロー鈴木まり子 氏



「ファシリテーション講座」

- ・内 容：小地域福祉活動実践や各種福祉団体等を対象に、地域活動での話し合いを始める前に準備すること、効果的な話し合いの進め方を学び、より良い地域福祉活動、助け合い・支え合い活動に繋がるよう実施した。

⑦ 「傾聴講座」

2月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(2)ー3 地域福祉活動への参加促進

① 福祉健康まつり開催事業

福祉・健康・介護に関する事業の啓発と福社会館、健康づくりセンター、いずみの郷の施設の紹介を行い、関係団体の参加の輪を広げ、来場者との相互の交流を図ることにより、地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進、介護保険制度の普及促進を図ることを目的として開催した。

- ・開催日 10月20日（日）8：30～14：00
- ・会 場 福社会館、ウェルピアながいずみ、在宅福祉総合センター
いずみの郷及び周辺駐車場
- ・内 容 福祉功労者表彰、各施設紹介、福祉関係団体による模擬店、作品展示、スタンプラリー、ステージ出演のほか、福社会館浴室・大広間の無料開放、おまつり臨時バスの運行
- ・参加団体数 70団体
- ・来場者数 約2000名 他スタッフ約800名



「オープニングセレモニー」



「閉会式でのお菓子まき」

【事業の成果と課題】

1 夏休み中学生福祉体験学習

参加者の体験学習の希望先として、保育園の希望者は多いが介護、障害施設の希望者が少ない。核家族が標準世帯となるなか、祖父母と過ごす経験がない子供達が増加していること、それにより介護のイメージが湧きにくいことが要因の一つであると考える。

今後は、参加した生徒の声を参考に、将来の職業選択の参考になるように、今まで以上に介護や福祉の魅力を伝えられる充実した内容の講座を開催していきたい。

(3) 施策の方向 3 「いざというとき連携・協力できる地域づくり」

(1)ー1 みんなでつくる安全・安心なまちの確保

①「長泉町総合防災訓練」

- ・開催日 8月25日（日）
- ・場 所 福祉会館ボランティアルーム
- ・内 容 災害ボランティア本部立ち上げに必要な資機材の確認や、災害ボランティア本部立ち上げを行う場合の検証を行った。

②「HUGリーダー養成研修」

- ・開催日 12月7日（土）
- ・場 所 いずみの郷3階集会室
- ・講 師 静岡県東部危機管理局職員
- ・参加者 10名
- ・内 容 避難所運営ゲーム（HUG）を進行できる人材育成を目的に、災害ボランティアネットワーク長泉とともに実施した。会員以外に民生委員、自主防の参加があった。

③「災害ボランティアコーディネーター養成講座」

- ・開催日 2月15日（土）
- ・場 所 いずみの郷3階集会室
- ・参加者 37名（認定証対象者33名）
- ・内 容 昨年度に引き続き、町と本会が主催、災害ボランティアネットワーク長泉の共催で開催した。併せて、県知事認証の「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座」とし、修了者には県知事認定証を交付した。



「総合防災訓練」



「HUGリーダー養成研修」



「災害ボランティアコーディネーター養成講座」

(3)ー2 総合的な総合相談体制の確立

① 福祉情報発信力の強化

広報誌、社協ホームページのリニューアル等を行った。社協広報誌『福祉ながいずみ』は、社協広報誌『社協だより』に名称を変更した。

また、ホームページと連動し情報提供を行った。

広報誌については、町内世帯数の増加により発行部数を 16,600 部から 300 部増刷した。

・社協広報誌『社協だより』 発行部数 16,900 部

令和元年 5 月 1 日号 (No.245) ～令和 2 年 4 月 1 日号 (No.256)

【事業の成果と課題】

1 みんなでつくる安全・安心なまちの確保

今年度は台風 19 号で近隣市町に被害があり、その後に行われた災害に関連する研修や講座では、参加者の意識は大変高いものがあつた。災害ボランティアコーディネーター養成講座では、参加者のうち「災害ボランティアネットワーク長泉」に 5 名の方が加入された。

今後は、その意識を継続する為にも、研修や講座等の内容がより実践的なものとしていかなければならないと考えている。

2 福祉情報発信力の強化

社協事業をわかりやすく地域住民に伝えていくことを目的に、赤い羽根共同募金や会費の使途がわかるようロゴマークを活用し伝えた。

また、リニューアルしたホームページと連動し、紙面の詳細をホームページで確認できるよう広報誌に QR コードを掲載し、ホームページとの使い分けを行った。

ホームページについては、最新の情報を掲載するよう事務局内での体制を構築した。

(4) 施策の方向 4 「住民・民間・社会福祉協議会・行政との協働」

① 民生委員・児童委員協議会活動との連携

地域福祉活動を推進するため、日頃から民生委員・児童委員との連携を図るとともに活動費の支援を行った。

・役員会 月 1 回 初旬 ・定例会 月 1 回 中旬

・「地域ブロック会議」への参加

民生委員・児童委員活動を通じた地域の特色や課題を把握し、地域福祉活動の推進に活かすことを目的に地域ブロック会議に参加した。

・地域ブロック会議（8 ブロック） 計 20 回参加

・地域ブロック長会議 計 3 回参加

・活動費支援	県社協生活福祉資金実費弁償費	252,000 円
	町社協事業協力費補助金	435,000 円
	駿東郡民児協連絡会研修費助成金	65,250 円

② 行政との協働

認知症や徘徊高齢者などの見守り支援体制のネットワーク化を図り、みんなで見守る、子どもやお年寄りにやさしい町とするため、関係各方面との情報連絡体制の強化に努めることを目的とする。

ア 「認知症を考える地域会議及び認知症初期集中支援チーム検討委員会」への参画

※会議内容については、認知症初期集中支援チームの報告を参照

イ 生活支援体制整備事業との連携

- ・長泉北小学校区第2回元気な地域づくりの会参加：5月19日（日）
- ・令和元年度第5回SC連絡会議参加：8月28日（水）
- ・情報共有、地域福祉活動の相談協力：適宜

ウ 地区活動支援担当者連絡会への参加

地域活動を推進する役場担当課と、情報を共有することを目的とした会議へ参加した。参加機関は、生涯学習課、健康増進課、長寿介護課。

- ・第1回 8月1日（木）職員3名
- ・第2回 9月25日（水）職員1名
- ・第3回 12月20日（金）職員2名

エ 長泉わくわくまつりへの参加

「長泉わくわくまつり」に、各事業で関わる方の社会活動参加の機会および、社会福祉協議会のPRと職員の親睦の場として参加した。

今年度は、長泉町民生委員・児童委員協議会の有志も合同参加いただき、例年以上の盛り上がりを見せた。

- ・開催日 8月3日（土）
- ・参加者 31名（職員15名、事業利用者等4名、民生委員12名）

(1) 在宅福祉サービスの推進

ア ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」

町内在住の概ね65歳以上の方を対象に、外出する機会の提供、交流の場となるよう、給食ボランティア2団体（長泉ボランティア、民生委員・児童委員協議会）の協力のもと、食事会と30分程度の催し物を行った。

今後増加するひとり暮らし高齢者を見込み、平成30年4月より従来の集会室に加え福祉会館大広間の2会場で開催した。荻素区と新屋町上を境に北部地区・南部地区とし会場を月替わりに設定している。

○令和元年度平均参加者数：71.6人（平成30年度77.7人）

[参加者数]

日程	天候	北部	南部	参加者 合 計	催し物 出演者	給食 ボラ等	傾聴 ボラ	包括 職員	職員	合計
4/25	曇	45	31	76	3	17	2	3	6	107
5/21	雨曇	27	28	55	5	11	2	3	5	81
6/21	曇	38	36	74	2	10	3	3	5	97

7/18	曇	40	38	78	6	1	3	2	4	94
9/24	晴	42	35	77	25	20	2	1	5	130
10/29	雨	35	31	66	1	1	2	2	5	77
11/22	雨	34	30	64	4	13	2	1	5	89
12/24	晴	45	32	77	10	1	0	1	5	94
1/28	曇	39	33	72	13	13	2	0	6	106
2/21	晴	42	35	77	38	19	0	3	6	143
3/24	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		387	329	716	107	106	18	19	52	1,018

[内 容]

日程	催 し 物	出演団体等	給食ボランティア 運営ボランティア
4/25	楽しくストレッチ	理学療法士	民生委員
5/21	懐かしの歌声喫茶 ～昭和の歌を楽しもう～	クローバーズ	長泉ボランティア
6/21	クラシックギター& オカリナ&歌	アニロ・グランデ	長泉ボランティア
7/18	心に響く沖縄三線	かりゆし	— (外注) 運営ボランティア
9/24	園児とのふれあい交流	中央保育園	民生委員 運営ボランティア
10/29	軽い運動	健康増進課職員	— (外注) 運営ボランティア
11/22	折り紙教室	シニアクラブ長泉女性部	長泉ボランティア 運営ボランティア
12/24	マンドリン演奏 ～みんなで元気に歌おう～	金岡マンドリンクラブ	— (外注) 運営ボランティア
1/28	ハンドベル演奏 ～ベルにふれて歌って楽しみましょう～	ベルママン	長泉ボランティア 運営ボランティア
2/21	特殊詐欺被害防止啓発	裾野警察署	民生委員 運営ボランティア
	知徳高校生徒との交流会	言葉遊びレクリエーション (知徳高校福祉科生徒)	
3/24	新型コロナウイルスの 影響により開催中止	—	—

イ 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

長泉町に居住するおおむね65歳以上でひとり暮らし高齢者を対象に、福祉電話を設置し、緊急時の通報体制の確立を図った。

設置状況

	設置数
R2年3月末	95
H31年3月末	99
増減内訳	取付17 撤去21

ウ ひitori親家庭親子交流事業

ひとり親家庭の親子及び親同士のふれあいを深め、且つ参加者相互の情報交換や仲間作りの場を設けること、母子寡婦福祉会の啓発を目的として交流事業を開催した。

- ・開催日 6月8日（土）
- ・目的地 山梨県南アルプス市（さくらんぼ狩り）
- ・参加者 14名（大人6名、子供7名、職員1名）

エ 視覚障がい者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うため、ボランティアの協力を得て声の広報発行事業や点字による情報提供事業を実施した。

i 声の広報発行事業

- ・『広報ながいずみ』 24回発行
- ・『議会だより』 4回発行
- ・『社協だより』 12回発行

ii 点訳の支援

点字による情報提供が円滑に推進されるよう、福祉団体室内の点字プリンターやパソコンを点訳活動に活用し、ボランティア活動を支援した。

オ 車椅子貸出事業

病院や施設からの一時外泊等、介護保険制度で非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸し出した。

また、学校等で福祉教育の教材として使用する場合、無料で車椅子を貸し出した。

- ・貸出期間 1ヶ月480円（3ヶ月を限度とする）

車椅子貸出状況

	個人向け貸出件数	教材等貸出件数
R2年3月末	24	5
H31年3月末	38	2
増減	△14	3

カ 新入学児童黄色い帽子贈呈事業

児童の健全育成と交通安全を祈念する目的で、小学校新入学児童への交通安全帽子を入学時に贈呈した。（経費は平成30年度分）

- ・贈呈日 4月5日（金）入学式
- ・該当者数 男子255名 女子235名 合計490名

(4) 福祉団体への助成

① 事業概要

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、コピー機等の無償提供、福祉会館等貸室利用料の免除、研修や行事等のマイクロバス運行などの支援を行った。

また、団体事務局の設置が必要な団体には担当職員を配置し、行事企画運営や参加者取りまとめ等、会務運営の支援を行った。

② 事業内容

- ・福祉団体助成金交付事務
- ・団体事務局の運営（シニアクラブ長泉、遺族会、手をつなぐ育成会）
- ・団体会員及び上部団体等との連絡調整

③ 事務局設置団体

ア シニアクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じて仲間づくり、健康づくりなど生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進する地縁高齢者団体のシニアクラブ長泉に対して支援した。

i 会務運営支援

- ・総会（4月22日）145名参加
- ・三役会（毎月）
- ・理事・友愛部長合同会議（毎月）
- ・プラスワン委員会（適宜）
- ・上部団体及び単位クラブ連絡調整

※3月度は三役会、理事会、プラスワン委員会とも新型コロナウイルス感染症対策のため休会し、関連書類を郵送した。

ii 健康・文化活動事業支援

- ・第48回グラウンドゴルフ大会（5月23日）377名参加
- ・第27回輪投げ大会（6月20日）490名参加
- ・ながいずみクリーンアップ作戦（9月15日～21日）
- ・第45回スポーツ大会（9月19日）624名参加
- ・第49回グラウンドゴルフ大会（11月15日）373名参加
- ・健康ウォーキング事業（各クラブで実施）
- ・サークル活動への支援（グラウンドゴルフ、長泉音頭&レクダンス、

フラダンス、健康マージャン、健康美体操、学び直し教室)

iii 友愛活動その他活動支援

- ・友愛訪問員研修会の企画、友愛交流会（簡易リンパマッサージ教室）、交流研修会（交通安全教室）
- ・広報紙「シニアクラブ長泉だより」の編集発行（7月号・1月号）
- ・11月に埼玉県で開催された全国老人クラブ大会において原分スマイルクラブが「100万人会員増強運動優良クラブ賞」を受賞し、1月に町長へ表敬訪問した。

イ 長泉町遺族会

i 会務運営

- ・上部団体等との連絡調整・文書受付及び取り次ぎ等

ii 団体活動

- ・総会資料作成補助・年会費等徴収事務
- ・役員・支部長会議等案内
- ・護国神社・靖国神社参拝、万灯祭等の参加者取りまとめ

ウ 長泉町手をつなぐ育成会

i 会務運営

- ・総会（5月15日）
- ・上部団体及び駿東郡各町育成会との連絡調整
- ・文書受付及び取り次ぎ等

ii 団体活動

- ・行事案内、参加者取りまとめ・行事支援（当日同行）
- ・行事支援者の調整

④ 運営費助成団体一覧

（単位：円）

	団体名	助成額	備考
1	シニアクラブ長泉	750,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	720,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福祉会	650,000	
4	長泉町手をつなぐ育成会	300,000	事務局支援
5	長泉町母子寡婦福祉会	270,000	
6	精神保健福祉長泉きせがわ会	100,000	
7	沼津地区更生保護女性会長長泉支部	50,000	
8	ながいずみ断酒会	20,000	
合 計		2,860,000	

【事業の成果と課題】

1 ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」

2月の仲良会は、くらし環境課からの依頼により裾野警察署による町内で発生した特殊詐欺被害における啓発活動が行われた。3月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者が集まるリスクが懸念され中止とした。

参加者数については、雨天時の欠席者が増加する傾向にある。一方で仲良会は参加者にとって月に一度の楽しみでもあり、人との交流や食の確保等、様々な効果が期待されるため、台風等も含めた天候による開催基準の見直しを行い、参加者の楽しみと安全確保の両立に努めていきたい。

2 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

福祉電話の取り外し理由は、入所や死去による撤去などであった。取り付けの依頼は、主に民生委員からの情報提供によるため、今後も必要な方に必要な事業が行き届くよう、民生委員と連携の強化を図っていきたい。

課題として、廃止の手続きの漏れがあることである。今年度はN T Tと連携し全利用者の使用状況を確認したところ、実際には利用されていない方がいることが判明した。廃止の手続きが遅れると、利用していないN T T機器レンタル料の発生や社協からの福祉電話利用料助成金が発生するため、取り外しが必要となった利用者の情報をどのようにして収集するのか、廃止手続きの流れについて検討の必要がある。

また、様々なインターネット回線を利用するひとり暮らし高齢者が増えている状況のなか、福祉電話の設置条件と合わない状況も発生していることから、利用における基準の見直しが必要となってきた。

3 車椅子貸出事業

怪我などにより一時的に車椅子が必要となった地域住民に対し、気軽に利用いただける仕組みとなっている。

本事業のもう一つの側面として、地域福祉教育のための教材としての貸出しも行っている。今年度、障がい者スポーツ推進団体より「健常者に簡単にできる車椅子でのスポーツを伝えたい。」と相談があり、無料での貸出しを行った。

このような活動を通して、社協としてもノーマライゼーションの考え方に地域住民が触れる機会につながると考える。

この活動内容を社協だよりで共有し、事業を必要としている地域住民へ届くよう車椅子の活用の幅を広めていきたい。

1－3 福祉総合相談事業

1 福祉総合相談事業

(1) 福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

①開設時間 月曜日～金曜日 午前 8 時 15 分～午後 5 時

②開設場所 福祉会館 3 階相談室

③相談件数 23 件

④相談人数 23 人（男性 18 人、女性 5 人）

⑤相談方法 23 件（来所 8 件、電話 15 件、訪問 0 件）

相 談 内 容 ・ 処 理 状 況					
区 分	解決	再来	民生委員	機関紹介	計
生 計		3		1	4
年 金					
職 業 ・ 生 業		7		1	8
住 宅		3			3
家 族					
結 婚					
離 婚					
健 康 ・ 衛 生				2	2
医 療					
精 神 保 健					
人 権 ・ 法 律					
財 産					
事 故					
児童福祉・母子保健					
教 育 ・ 青 少 年					
心身障害者福祉		2			2
母子・父子福祉					
老 人 福 祉		2			2
苦 情					
そ の 他		2			2
合 計	0	19	0	4	23

(2) 生活困窮者の社会参加支援

月 1 回、失業者および低所得者の社会参加支援として、生活福祉資金、小口資金償還中の者、償還したが就労できていない者、生活困窮者自立相談支援事業利用者等を対象に、社協だより発送作業と茶話会を実施した。

開催を訪問や電話連絡することにより、世帯状況の把握に努めている。

実施月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
参加者数	2	1	2		2	2	0	0	0	0	0	0

2 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な人が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものである。

平成 24 年度から、相談受付や利用契約の締結と利用者支援を行っている。

(1) 職員配置：専門員 2 人(兼務)、生活支援員 3 人※令和 2 年 3 月末現在

(2) 利用者数

区 分	令和元年度			
	高 認 齢 知 者 症	障 知 害 者 的	障 精 害 者 神	そ の 他
継 続	2	3	1	6
新 規	0	0	0	0
解 約	2	0	0	0
小 計	4	3	1	6
合 計	14 人			

(3) 相談援助件数（カッコ内数字は生活保護受給者対応数）（単位：件）

内容	本事業の利用に関するもの				その他	合計
対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	そ の 他		
問合せ件数	0(0)	0(0)	1(1)	2(0)	0(0)	3(1)
初回相談件数	1(0)	0(0)	0(0)	4(0)		5(0)
相談援助件数	244(0)	161(16)	341(0)	594(185)		1,340(201)
合 計	245(0)	161(16)	342(1)	600(185)	0(0)	1,348(202)

3 生活困窮者自立支援法に基づく事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

平成 27 年度から静岡県の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

- ① 相談件数 487 件
- ② 相談実人数 46 人（男性 31 人、女性 13 人、不明 2 人）
 - うち、本人未特定 0 人
 - 以前からの継続者 2 人（男性 2 人、女性 0 人）
 - 今年度新規相談者 44 人（男性 29 人、女性 13 人、不明 2 人）
- ③ プラン確認実人数（再プランを含む件数） 10 人（12 件）
 - プラン評価し支援終了者 3 人
- ④ 住居確保給付金申請実人数 0 人
- ⑤ 支援状況 (単位：件)

相談処理状況	計
電話相談・連絡	128
訪問・同行支援	74
面談	66
所内会議	50
支援調整会議（プラン策定）	23
支援調整会議（評価実施）	1
その他他機関との会議	26
他機関との電話照会・協議	94
その他	25
合 計	487

⑥ 支援実績 (単位：人)

今年度新規就労	1
一般就労	1
その他就労系福祉サービス含む	0
他制度、他機関紹介、情報提供等で支援終了（初回評価）	17(0)
〃（2 回目以降評価）	0(0)
プラン評価し終結	3(0)
中断・終了（連絡がとれない等）	1(0)
継続支援	20(2)
合 計	41(2)

※（ ）内数字は一昨年度、昨年度からの継続者

※継続支援とは、求職者が就労した後も住居確保給付金受給や相談援助を行っている、就労以外の生活に困窮した課題があり相談援助をしている者等を示す。

⑦ 支援調整会議

第1回開催日：令和元年10月30日（水）

第2回開催日：令和元年12月5日（木）

第3回開催日：令和2年2月5日（水）

第4回開催日：令和2年3月5日（木）

(2) 家計相談支援事業

平成30年度から静岡県の委託を受けて実施した。

なお、本事業は令和2年度より、静岡県社会福祉協議会にて実施することとなり、今後、ケースの引継ぎを行っていく。

① 支援実績 今年度新規受付2件、昨年度からの継続件数は1件

(3) 一時生活支援事業

今年度から自立相談支援事業、家計相談支援事業に併せ静岡県の委託を受けて実施した。

① 支援実績 1件

(4) ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）

平成28年度から静岡県の委託を受け、「SUNTO-TAGATA スタディ・サポートコンソーシアム」（NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡、社会福祉法人共済福祉会、社会福祉法人聖家族の園、社会福祉法人蒼樹会、静岡県社会福祉協議会及び函南町社会福祉協議会、清水町社会福祉協議会、長泉町社会福祉協議会）により実施した。

(5) その他

① 「フードバンクふじのくに」のフードドライブへの協力

・夏季フードドライブ（8月1日～8月31日）寄贈食品重量：60キロ

・冬季フードドライブ（1月6日～1月31日）寄贈食品重量：52キロ

② フードバンク活用実績 4件（総量：51.5キロ）

4 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯に対する生活福祉資金の貸付の窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を行った。

償還事務については、民生委員と適宜情報交換を実施し、償還の遅れている者について連絡や訪問をした。

(1) 貸付実績 2件

貸付資金種類	貸付基準日	償還期限	貸付金額
緊急小口資金	平成31年4月30日	令和2年4月30日	100,000円
緊急小口資金	令和元年5月31日	令和2年5月31日	94,000円

(2) 相談対応

	合計		貸付相談		償還相談		その他相談	
	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間
4月	5	6:15	3	5:25	1	0:20	1	0:30
5月	5	3:50	3	3:40	1	0:05	1	0:05
6月	6	4:25	3	1:35	1	0:05	2	2:45
7月	3	0:55	0	0:00	1	0:30	2	0:25
8月	1	2:00	1	2:00	0	0:00	0	0:00
9月	8	5:30	2	3:15	2	0:45	4	1:30
10月	0	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0:00
11月	0	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0:00
12月	0	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0:00
1月	2	1:10	0	0:00	1	1:00	1	0:10
2月	2	0:30	2	0:30	0	0:00	0	0:00
3月	1	0:10	0	0:00	0	0:00	1	0:10
合計	33	24:45	14	16:25	7	2:45	12	5:35

※時間:対応時間の累計

(3) 償還完了 5件

貸付資金種類	貸付基準日	償還期限	貸付金額
緊急小口資金	平成26年5月31日	平成27年3月31日	80,000円
教育支援資金	平成21年3月31日	令和1年9月30日	1,180,000円
緊急小口資金	平成22年2月24日	平成23年1月31日	100,000円
緊急小口資金	平成22年3月31日	平成23年1月31日	100,000円
緊急小口資金	平成31年3月31日	令和2年3月31日	50,000円

【事業の成果】

1 総合的な相談対応

制度の狭間にいる子どもを支援しているスクールソーシャルワーカーの活動支援として、福祉総合相談事業で連携機関の提案や食料支援等を行った。

生活困窮者の社会参加支援について、後半は送迎の都合がつかず参加できなかつたり、感染症予防の為に参加を見送るなど参加者不在の状況が続いた。今後は、活動の支援方法の改善を図り、継続的な参加が可能となる活動支援を検討していきたい。

2 日常生活自立支援事業

金銭管理のイメージが関係機関に浸透し、問い合わせも多いが、福祉サービス利用支援が前提にあるということや、判断能力が不十分な人を対象

としていること等、事業についての正しい周知をすることが課題である。

また、複合的な課題を抱えている利用者については、支援に関わる関係機関との役割分担について検討を必要とするケースも増えてきている。

3 生活困窮者自立支援事業

相談者数、相談件数共に増加傾向にある。支援調整会議の定期開催により、今まで以上に関係機関との調整の場面も増加してきている。

令和2年4月より、毎月支援調整会議が開催されることとなり、より一層、関係機関との連携を図っていきたい。

4 生活福祉資金貸付事業

期間中償還完了が5件あったが、うち3件については延滞利子が発生しており、利子の支払いを続けなければならない。

貸付件数2件について、就労しながらも不測の事態で一時金が必要なケースであったため、緊急小口資金で対応している。1件については、借受人が正社員として登用され、安定して生活している状況を確認できた。

1－4 共同募金助成金事業

1 一般募金助成金事業

昨年度寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金の助成金により、福祉育成援助活動費として5事業、老人福祉活動費として2事業を実施した。

(単位：円)

項 目		期 日	内 容	助成額
1 福祉育成援助活動費				2,249,000
1	福祉教育実践校事業	通年事業	指定校助成金	300,000
2	福祉健康まつり開催事業	10月20日(日)	事業費・行事費	1,796,997
3	生活困窮者等食糧支援パック	通年事業	事業費	16,000
4	ひとり親家庭親子交流事業	6月8日(土)	事業費	103,000
5	新入学児童入学祝贈呈事業(黄色い帽子)	—	黄色い帽子購入	33,003
2 老人福祉活動費				806,991
1	ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」	年10回開催	給食費8.5回分	668,751
2	シニアクラブスポーツ大会	9月19日(木)	参加賞	138,240
助成金総額				3,055,991

(2) 費用按分事業内訳

項 目		サービス区分1 (共募助成金)	サービス区分2 (地域福祉活動)	総事業費 (1+2)
1	福祉教育実践校事業	300,000円	300,000円	600,000円
2	福祉健康まつり開催事業	1,796,997円	1,196,305円	2,993,302円
3	ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」	668,751円	448,451円	1,117,202円
4	ひとり親家庭親子交流事業	103,000円	47,000円	150,000円
5	新入学児童入学祝贈呈事業(黄色い帽子)	33,003円	262,391円	295,394円

2 歳末たすけあい募金助成事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、町内在宅者に対しては民生委員を通じて、施設入所者に対しては本会理事、町福祉保険課の協力を得て見舞金を贈呈した。

対象者	令和元年9月1日に長泉町に住民票を有し、世帯全員の住民税が非課税世帯もしくは準要保護世帯
-----	--

【対象者分類別一覧】

(単位：円)

対象者	助成金支出	事務費支出	対象者別合計額
高齢者	305,000	0	305,000
障害児・者	397,000	11,260	408,260
児童・青少年	811,000	3,688	814,688
課題を抱える人	130,000	3,233	133,233
合計	1,643,000	18,181	1,661,181

【対象者件数別一覧】

(単位：件)

対象者	在宅	施設	団体	合計
高齢者	61	0	0	61
障害児・者	32	51	2	85
児童・青少年	71	6	0	77
課題を抱える人	11	0	0	11
合計	175	57	2	234

【事業の成果】

令和元年度は、歳末たすけあい助成金交付方法を見直し、民生委員が把握する生活困窮世帯等に加えて、社協広報誌等を通じ広報で申請を周知することにより、様々な生活課題を抱えている世帯にも歳末見舞金の申請が行えるようにした。結果、ひとり親世帯や課題を抱えている世帯等、従来把握できていない世帯からの申請受付につながり、必要とされる世帯に見舞金を贈呈することにつながった。

1－5 手話通訳者派遣事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者、並びに聴覚障がい者等と意志の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障がい者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

2 事業内容

(1) 運営状況

- ・登録手話通訳者 4名（町内3名、広域登録1名）
- ・手話通訳等報酬 1時間 3,180円 交通費 1kmあたり 40円支給

(2) 手話通訳者派遣事業実績

月	件数	通 訳 者 派 遣 数							項 目 別 件 数								
		時間帯		登録者数		派遣場所		派遣時間 手話登録者 合計									
		昼	夜	町内	町外	町内	町外		生命健康	官公署	職業	教育	教養自己	住居	地域生活	団体活動	その他
		件数	件数	人数	人数	件数	件数		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	15	14	1	8	9	7	8	30:50	8			1				6	
5月	15	15		11	12	7	8	56:05	5		1	1				7	1
6月	19	18	1	8	16	10	9	55:55	6						3	9	1
7月	13	12	1	7	11	6	7	46:25	6						2	4	1
8月	20	16	4	13	13	6	14	46:50	10							7	3
9月	19	17	2	13	14	10	9	50:30	6			1				8	4
10月	14	12	2	7	14	7	7	44:45	6			2				5	1
11月	16	10	6	13	12	9	7	58:50	5			1				9	1
12月	20	15	5	13	20	15	5	74:05	3							17	
1月	10	9	1	8	10	6	4	35:45	2							8	
2月	18	15	3	15	12	11	7	49:15	3		1	2				11	1
3月	13	13		10	3	4	9	21:15	7		3						3
R1 合計	192	166	26	126	146	98	94	570:30	67		5	8			5	91	16
H30 合計	291	262	29	206	170	116	175	794:46	132	5	3	10	2	0	4	119	16

(3) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者の生活及び関連する福祉制度について理解と認識を深め、手話で日常会話を行うのに必要な手話技術や手話表現技術の習得を図る。

i 開催日 5月9日～令和2年2月27日 毎週木曜 19:00～

全40講座・6講義

ii 会場 長泉町福祉会館

iii 対象者 長泉町在住、在勤の高校生以上の方

iv 参加者 9名受講（出席率80%以上で修了証交付）

v 修了者 7名（町内在住6名）

(4) 夏休み子ども手話教室

聞こえない人の言葉「手話」の学習を通じて聴覚障がい者との交流と理解を深めることを目的に、初級クラスと中級クラスに分かれ4日間開催した。

i 開催日 7月27日（土）～7月30日（火）4日間

ii 会場 長泉町福祉会館

iii 対象者 長泉町在住の小学1年生から中学3年生

iv 参加者 7名（初級クラス2名・中級クラス5名）

v 講師 長泉町身体障害者福祉会ろうあ部、長泉町登録手話通訳者会

vi 協力 手話サークルふくろうの会

【事業の成果】

今年度、町内在住登録手話通訳者が1名誕生した。手話通訳者になるためには、手話奉仕員養成講座2年、手話通訳者養成講座3年を修了後、試験を受け、最低でも5年が必要となる。

夏休み子ども手話教室では、「最初は緊張したけれど、先生たちが優しく教えてくれたから手話がちょっとずつできるようになりました。」「耳の聞こえない人にとってはすごく大切なんだなと思いました。」といった率直な感想が寄せられた。

手話に関心を持っている人にとって、講座や教室の開催が手話や聞こえない人との接点をもつきっかけになったり、手話通訳者養成につながっていくことから、今後も継続して開催し手話に接するきっかけ作りを継続していきたい。

1－6 心身障害児放課後対策事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

長泉町心身障害児放課後対策事業は、保護者が労働等により昼間家庭で保育できない心身障がい児を対象として放課後の活動の場を提供することにより、児童の健全な育成及び保護者の養育負担の軽減を図り、もってその福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 事業内容

- (1) 児童の自主性を尊重した遊び等の見守り
- (2) その他児童の健全育成上必要な活動に関する事

3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	活動状況
4 月	20	4	41	公園外出
5 月	19	4	43	公園外出、調理実習
6 月	20	4	60	避難訓練
7 月	22	4	64	お誕生会、公園外出、七夕、読み聞かせ 映画会、プール、調理実習
8 月	19	5	63	公園外出、プール、お誕生会、買い物、 調理実習、
9 月	19	5	46	公園外出
10 月	20	5	41	ハロウィンパーティー、さつま芋掘り
11 月	20	5	45	しりとり大会
12 月	20	5	46	読み聞かせ、お誕生会、餅つき、クリスマス会 調理実習、公園外出
1 月	19	5	45	かるた大会
2 月	18	5	43	お誕生会
3 月	21	5	69	6年生を送る会、調理実習、6年生お別れ会
R1 合計	237	56	606	
H30 合計	235	63	649	
増減	2	△7	△43	

4 ボランティア・実習生受け入れ

- ・読み聞かせボランティア 1団体 ふくろうの読みもの屋
- ・大学生ボランティア 2名
- ・ボランティア（大人） 1名
- ・中学生福祉体験 2名

5 研修・学校関係

- 7月11日（木） 沼津視覚特別支援学校研修会（視覚障害児に対する支援）
- 9月17日（火） 沼津特別支援学校公開
- 11月6日（水） 御殿場特別支援学校公開
- 11月8日（金） 北小フェスティバル見学

【事業の成果】

各特別支援学校の福祉事業所連絡会、オープンスクール、公開授業研修に参加。保護者の了解のもと子どもとの関わり方や思春期初期の支援方法について学校と相談するとともに、わかあゆにおける状況を説明し学校と情報共有・連携を強化した。

長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会及び子育て支援部会に参画し、町内の事業所との連携を強化するとともに、子育て支援部会では、切れ目のない支援を目的とした「長泉町子育てサポートファイル」の作成委員事業所として活動を行った。

心身障がいを持った子ども達を知ってもらうため中学生や大学生のボランティアを積極的に受け入れた。その際、SDGs 17のターゲットと今回の活動を絡めて説明し、それを踏まえてボランティア活動をしていただいた。

1－7 小口資金貸付事業

1 事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活指導及び小口資金の貸付けを行った。

2 貸付状況

申 込 状 況		決 定 状 況		申込に対する決定率	
件数	金 額	件数	金 額	件数(%)	金 額 (%)
8 件	189,000 円	8 件	189,000 円	100%	100%

3 償還状況

項目	貸 付 金 額		償 還 金 額		不納欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金 額①	件数	金 額②	件数	金 額③	金 額
当年度分	8 件	189,000 円	9 件	92,500 円	0 件	0 円	96,500 円
過年度分残高	4 件	120,000 円	3 件	65,000 円	0 件	0 円	55,000 円
合計	12 件	309,000 円	12 件	157,500 円	0 件	0 円	151,500 円

- ・ 償還終了件数：6 件
- ・ 償還残件数：6 件（当年度貸付分：4 件 過年度貸付分：2 件）

【事業の成果と課題】

生活保護費支給までのつなぎとして4件、年金支給までのつなぎとして2件貸付を行った。貸付事業単独ではなく、町福祉保険課や生活困窮者自立支援事業との連携が必須になっている。

過年度貸付世帯で2世帯が償還を終了させた。

過年度貸付世帯2世帯55,000円を徴収不納引当金として計上した。この世帯については民生委員と連携して生活状況を確認していく必要がある。

1－8 生活支援体制整備事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。

2 事業内容

この事業は、平成30年度から開始した新規事業である。本会に第1層生活支援コーディネーター（以下、第1層SC）を1名配置し、困りごとを抱える高齢者の生活を支援する体制を整える事業である。

- (1) 地域ニーズと資源の状況の見える化
- (2) 関係者のネットワーク化
- (3) 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- (4) 生活支援の担い手の養成やサービスの開発
- (5) ニーズとサービスのマッチング 等

3 第1層協議体

- (1) 事務局 町長寿介護課

- (2) 開催回数 4回

① 第1回協議体

- ・日 時：5月10日（金）14：00～16：00
- ・内 容：第1回たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会参画

② 第2回協議体

- ・日 時：7月30日（火）14：00～16：00
- ・内 容：平成30年度事業報告
令和元年度事業計画
意見交換

③ 第3回協議体

- ・日 時：11月28日（木）14：00～16：00
- ・内 容：事業進捗状況について
生きがい・助け合いサミット研修報告
地域福祉検討会後の連携について

④ 第4回協議体

- ・日 時：1月28日（火）14：00～16：00
- ・内 容：社会資源ガイドブックについて
第2層協議体進捗状況について共有

4 たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会

平成30年度2月の地域たすけあいフォーラムに参加した地域住民の中から、地域のたすけあいについて検討する勉強会への参画を希望した方々と広報紙等で参加者を募集した。勉強会は「たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会」と称し住民主体の助け合いに向けて参加者の意見や関心の高いものを確認しながら実施した。

(1) たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会

① 第1回たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会

- ・日 時：5月10日(金) 14:00～16:00
- ・参加数：地域住民64名
- ・講 師：静岡福祉大学 増田樹郎教授
- ・内 容：全体会 講師講話

助けあいについて「地域に暮らす、地域を活かす」

分科会 目指す地域像について

② 第2回たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会

- ・日 時：6月14日(金) 10:00～11:30
- ・参加数：地域住民52名
- ・内 容：平成30年度ニーズ調査結果共有
関心のあるニーズの確認(圏域ごと)

③ 第3回たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会

- ・日 時：7月12日(金) 10:00～11:30
- ・参加数：地域住民63名
- ・講 師：認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
事務局長 石山典代氏
- ・内 容：全体会 講師講話

「地域で支え合う移動・外出支援」

- ア 移動支援実践事例から仕組みや取組みを学ぶ
- イ 移動支援のリスクや保険についての把握と理解
- ウ 道路運送法や制度等との兼ね合いについて

④ 第4回たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会

- ・日 時：8月23日(金) 10:00～11:30
- ・会 場：福祉会館2階研修室
- ・参加数：地域住民64名
- ・講 師：NPO法人たすけあい遠州代表理事 稲葉ゆり子氏
- ・内 容：全体会 講師講話

「居場所とたすけあい活動」

- ア 居場所の実践事例から仕組みや取組みを学ぶ
- イ 有償ボランティアについてのしくみを学ぶ
- ウ 居場所づくりの意味理解

⑤ 第5回たすけあいのしくみづくり地域福祉検討会

- ・日 時：10月4日(金) 10:00～11:30
- ・会 場：福祉会館2階研修室
- ・参加数：地域住民54名
- ・講 師：静岡福祉大学心理学科渡邊英勝氏
- ・内 容：全体会講師講話

「住民主体によるたすけあいのしくみづくり」

ア 住民主体のサービス創出に必要な視点を学ぶ

イ 協議体について学ぶ

分科会第2層協議体構成員の確認

5 行政や専門職との連携

第1層生活支援コーディネーターとして行政が開催するさまざまな会議に参加した。施策を確認するとともに生活支援体制整備事業の関わり、連携を強化した。

(1) SC連絡会議

長寿介護課2名と第1層SC1名、3地区地域包括支援センター第2層SC各1名合計5名で生活支援体制整備事業における会議を全10回行った。

(2) ネットワーク構築に関する会議

① 介護予防のための地域ケア会議

- ・日 時：9月3日(火) 13:30～15:00
- ・会 場：長泉町役場北館2階会議室
- ・参加者：居宅介護支援専門員3名
長寿介護課 1名 / 作業療法士 1名
管理栄養士 1名 / 保健師 1名
主任ケアマネ2名 / 社会福祉士 1名
第1層SC

- ・内 容：居宅介護支援専門員3名からの事例検討

② 特定非営利活動法人静岡団塊創業塾情報交換

- ・日 時：7月5日(金) 13:30～14:30
- ・会 場：長泉町役場北館会議室
- ・参加者：特定非営利活動法人静岡団塊創業塾理事長原田和正氏
長寿介護課長、長寿介護課2名
第1層SC
- ・内 容：生活支援コーディネーター活動報告・実施計画報告
特定非営利活動法人静岡団塊創業塾活動紹介
情報共有

⑤ 長泉町介護支援専門員連絡協議会情報共有

- ・日 時：５月１６日（木）１３：３０～１５：００
- ・会 場：いずみの郷３階集会室
- ・参加者：長泉町介護支援専門員
長寿介護課１名
第１層ＳＣ、第２層ＳＣ
- ・内 容：必要なインフォーマルサービスについてグループワーク

６ 地域で暮らす認知症の人の理解と地域でのたすけあいに必要な担い手の育成

(１) オレンジサポーターとの連携

認知症サポーターフォローアップ講座

- ・日 時：７月２４日（水）１０：００～１１：３０
- ・会 場：南部地区センター１階会議室
- ・参加者：受講者１０名
学識経験者１名、認知症地域支援推進員１名
長寿介護課１名
第１層ＳＣ・第２層ＳＣ２名（コーディネーター役）
- ・内 容：認知症サポーターの地域での活動
地域で認知症の人を支える活動について

(２) 認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーター養成講座を修了した希望者を対象に地域で認知症の人を見守る担い手の育成を行った。

- ・日 時：１月３０日（木）１３：３０～１５：００
２月 ４日（火）１３：３０～１５：００
２月 ５日（水）１０：３０～１２：００
１３：３０～１５：００
２月１３日（木）１３：３０～１５：００
- ・会 場：いずみの郷認知症対応型通所介護事業居室
- ・参加者：受講者全１９名
- ・内 容：地域で認知症の人の理解、認知症の人と出会う。

７ 第２層協議体及び第２層ＳＣとの連携し、今後第１層ＳＣと連動しながら事業を推進していけるよう、第２層との連携を強化した。

第２層ＳＣ主催会議

主 催	日 程	参加者数	内 容
北小圏域	５月１７日（金）	１０名	上長窪区サロン立ち上げ会議
北小圏域	５月１９日（日）	１８名	第２回元気な地域づくりの会
南小圏域	５月２４日（金）	１４名	杉原区サロン ささえあい会議

第2層協議体(小学校区ごと)

主 催		日 程	構成員数	内 容
北 小	第1回	12月8日(日)	8名	小学校区内の情報共有
	第2回	1月19日(日)	8名	優先する取組みの決定
	第3回	2月16日(日)	21名	区ごと構成員の選出
長 小	第1回	12月3日(火)	10名	検討内容の確認
	第2回	1月23日(木)	10名	既存サービスの勉強会
南 小	第1回	11月29日(金)	10名	地域福祉検討会の振り返り
	第2回	1月24日(金)	10名	居場所づくり検討
	第3回	2月21日(金)	10名	居場所づくり詳細の話合い

8 『社会資源ガイドブック』の発行

長泉町並びに本会で小地域福祉活動やシニアクラブ長泉の活動等を掲載した社会資源ガイドブックを作成した。このガイドブックはSCが関係機関等へ地域の情報収集を行い、第1層協議体の審議を経て高齢者の社会参加や地域での福祉活動のきっかけになることを目的に発行したものである。町のホームページでダウンロード可能である。

【事業の成果】

地域福祉検討会を通し、手上げ方式により小学校圏域ごとに第2層協議体を立ち上げた。このことにより区単位での活動について小学校圏域で共有することができる新しいネットワークを確立することができた。並行して各協議体での検討内容の共有を目的に生活支援体制整備事業新聞を発行している。

今後も各SC、行政と一体となって住民主体のしくみづくりを活性化させていきたい。

1－9 認知症初期集中支援チーム事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期診断・早期対策に向けた支援体制を構築することを目的とする。

2 事業内容

(1) 支援時間 月曜日～金曜日 午前 8 時 15 分～午後 5 時 15 分

(2) 支援人員 チーム員 長泉町社会福祉協議会内
福祉職 1 名（事務局・介護福祉士）
医療職 1 名（いずみの郷・看護師）
地域包括支援センター職員 1 名（長寿介護課）
チーム医 花メディカルクリニック医師

(3) 支援内容

① 実働件数 7 件（終結 6 件、継続 1 件）

② 新規件数 2 件（北包括 0 件、直営包括 2 件、南包括 0 件）

(4) 実働実績

認知症初期集中支援の実施（6 ヶ月を目途に終結）

月	訪問回数 (人回)	チーム員 会議	ケース支援	終結
4 月	6	1 回	No. 6 /No. 9	No. 7
5 月	7	1 回	No. 5 /No. 8	
6 月	9	1 回	No. 6 /No. 8 /No. 9	No. 5 /No. 6 No. 8 /No. 9
7 月	0	0 回		
8 月	0	0 回		
9 月	0	0 回		
10 月	2	0 回	No.10	
11 月	2	1 回	No.10	
12 月	2	1 回	No.10	No.10
1 月	0	0 回		
2 月	2	0 回	No.11	
3 月	5	1 回	No.11	
合計	35	6 回		

3 会議及び研修

(1) 認知症を考える地域会議及び認知症初期集中支援チーム検討委員会

① 第1回

- ・日 時 5月23日(木) 14:00～15:30
- ・出席者 チーム員2名
- ・開催場所 長泉町役場本館第1・2委員会室
- ・内 容 長泉町の認知症施策について
平成30年度事業報告、令和元年度事業計画について
認知症地域推進員について
認知症初期集中支援チーム活動報告

② 第2回

- ・日 時 1月22日(水) 14:00～15:40
- ・出席者 チーム員2名
- ・開催場所 長泉町役場本館第4・5委員会室
- ・内 容 令和元年度の認知症施策の実施について
介護者のための認知症介護講座について
認知症初期集中支援チーム活動報告

(2) 東部地域認知症総合支援事業連絡会

- ・日 時 1月31日(金) 13:00～15:40
- ・出席者 チーム員2名
- ・開催場所 東部総合庁舎別棟2階会議室
- ・内 容 静岡県における認知症施策の推進
認知症初期集中支援チーム取組状況の共有

【事業の成果】

地域包括支援センターと連携し、進捗状況や課題を共有した中で、ネットワーク強化を図りながら支援に努めている。支援単位である6ヶ月の活動の中で早急に医療や福祉との接点が必要なケースと地域での見守りを継続し地域包括支援センターに引き継ぐケースとがある。

情報システム『シズケアかけはし』はチーム医との連携を図ることが可能である為、今後も活用していきたい。

1－10 権利擁護推進事業

1 事業目的

この事業は、成年後見制度を安定して利用できるよう、今後需要の増加が見込まれる市民後見人を育成し、制度の普及啓発を行うことで成年後見制度の充実を図ることを目的とする。

また、本会が法人後見の実施機関として体制を構築し、判断能力が衰えても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、成年後見制度の利用等により権利擁護支援を行うことを目的とする。

2 事業概要

(1) 市民後見推進事業（長泉町受託事業）

沼津市、裾野市、清水町、長泉町の2市2町の枠組みにより、広報啓発事業、市民後見人養成研修、市民後見人養成講座修了者に対するフォローアップ講習等を行う。

(2) 法人後見事業

本会の単独事業として静岡家庭裁判所の機関設置承諾を得て実施する。

3 事業内容

(1) 市民後見推進事業

- ① 沼津市成年後見制度啓発講演会 8月1日（木） 職員3名参加
- ② 市民後見人養成研修事前説明会 8月30日（金）、9月4日（水）
・参加者延べ3名
- ③ 市民後見人養成研修受講申込者1名、決定者1名
- ④ 市民後見人養成研修 10月4日（金）から2月7日（金）
・施設実習、レポート作成含め、合計49時間

(2) 法人後見事業

令和元年7月5日 定款事業目的変更登記完了

令和2年3月17日 「法人後見実施要綱」、「裾野市・長泉町・清水町
成年後見運営委員会設置要綱」制定

【事業の成果】

新規事業として、沼津市を中心とした2市2町による市民後見人養成研修を開催した。本町から1名が受講し、初の市民後見人名簿登録者が誕生した。

今後、日常生活自立支援事業生活支援員としての活動に移行し、将来市民後見人として選任されるよう担い手の育成に力を入れていきたい。

今年度、法人後見実施体制が構築され、来年度以降、裾野市社協、清水町社協と成年後見運営委員会を設け協調して法人後見事業を実施していく。

2 老人福祉センター

2-1 福祉会館事業（町指定管理事業）

1 事業目的

福祉会館は、老人福祉センター、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図るため、健康相談事業、機能回復訓練、文化教養の向上の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく隣接する在宅福祉総合センターと連携し、良質な福祉サービスを提供する。

2 管理業務の状況

- (1) 清掃・環境衛生業務（平成 29 年度から平成 31 年度の長期継続契約）
 - ① 日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く※ただし、月曜祝日等で営業した翌日は実施）
 - ② 定期清掃 床清掃（年 6 回） 浴室天井壁面清掃（年 4 回）
 - ③ 窓ガラス清掃、屋上ドレン口ゴミ取り（年 4 回）
 - ④ 衛生管理 害虫防除（年 2 回）空気環境測定（年 4 回）
 - ⑤ 濾過系統配管消毒業務（週 1 回）
レジオネラ菌防止対策のため配管の高濃度塩素消毒
- (2) 管理員派遣業務（毎日） シルバー人材センターからの管理員派遣
- (3) エレベータ点検（月 1 回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）
- (4) 夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務
- (5) 浴槽設備点検（年 2 回）、 各浴槽設備、ろ過機等点検、24 時間対応
貯湯槽清掃消毒業務（年 1 回） レジオネラ菌防止対策の清掃消毒
- (6) 給水設備点検 給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（隔月 1 回）、飲料水・給湯水検査（年 2 回）・貯水槽清掃滅菌作業（年 1 回）
- (7) 浴槽水水質検査 レジオネラ属菌検査 気泡風呂（2 ヶ月／奇数月）
一般項目検査（年 2 回）
※レジオネラ菌が繁殖しやすい夏季期間（7 月～9 月）は毎月検査し、
浴槽の安全性を確認した。
- (8) 電気保安業務（隔月 1 回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検
- (9) トイレ消臭機器保守（隔月 1 回）大広間前トイレ消臭機器保守管理
- (10) ボイラー設備点検（年 4 回） 昇温・給湯ボイラー機器の保守点検
- (11) 消防設備点検（年 2 回） 自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検
- (12) 自動ドア点検（年 2 回） 機器の保守点検
- (13) 特殊建築物・建設設備定期報告（年 1 回） 建築基準法第 12 条第 3 項に基づく定期報告書作成業務
- (14) 地下タンク漏貯蔵所漏洩検査（年 1 回）重油用地下タンクの微加圧検査

3 施設利用状況

(1) 長泉町福祉会館利用状況

(単位:人)

月	開館 日数	会議室			浴室・大広間								合 計 (1) + (2)	一日 平均	健 康 相 談
		有料	無料	小計 (1)	有料				無料			小計(2)			
					大人 一般	高齢者 障害者	短時間	小人	シニア クラブ	大人	その他				
4月	26	566	913	1,479	131	303	2,816	41	167	76	0	3,534	5,013	193	505
5月	28	448	1,401	1,849	117	310	2,928	51	198	55	0	3,659	5,508	197	518
6月	26	366	1,216	1,582	96	280	2,649	76	177	74	0	3,352	4,934	190	502
7月	27	520	1,149	1,669	87	287	3,423	64	215	78	0	4,154	5,823	216	512
8月	28	607	781	1,388	138	291	3,487	163	136	0	258	4,473	5,861	209	471
9月	27	369	1,218	1,587	117	276	3,580	150	192	77	68	4,460	6,047	224	601
10月	25	463	3,085	3,548	102	232	2,497	36	189	66	0	3,122	6,670	267	534
11月	27	517	1,180	1,697	122	245	2,790	39	183	64	0	3,443	5,140	190	517
12月	23	393	1,283	1,676	110	166	1,771	51	138	77	0	2,313	3,989	173	357
1月	24	463	926	1,389	107	195	1,512	30	125	72	0	2,041	3,430	143	359
2月	26	722	939	1,661	99	208	1,616	40	147	77	0	2,187	3,848	148	435
3月	3	232	360	592	15	18	196	4	0	0	0	233	825	275	50
合計	290	5,666	14,451	20,117	1,241	2,811	29,265	745	1,867	716	326	36,971	57,088	197	5,361
30年度	310	4,944	15,194	20,138	1,720	3,500	34,693	852	2,004	855	318	43,942	64,080	207	5,403
増減	-20	722	-743	-21	-479	-689	-5,428	-107	-137	-139	8	-6,971	-6,992	-10	-42

※浴室・大広間の利用について、1 2月から奥側浴室リニューアル改修工事のため利用者数が減少している。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として3月5日から浴室・大広間の営業を停止したため、利用者数が減少している。

※会議室の利用について、1階遊戯室、第2会議室の利用が開始され、シニア世代のダンスサークルを中心に利用者が増加した。

短時間利用者 の推移	H22(10月～)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	2,777	6,171	7,777	16,997	21,926	26,327	29,130	30,234	34,693	29,265

(2) 会議室等利用状況

(単位:件数)

月	会議室等利用件数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	10	22	11	43	27	21	35	83	37	43	46	126
5月	9	17	12	38	35	34	35	104	44	51	47	142
6月	10	17	5	32	34	27	35	96	44	44	40	128
7月	8	18	11	37	48	23	32	103	56	41	43	140
8月	12	13	12	37	24	28	27	79	36	41	39	116
9月	12	23	7	42	47	29	36	112	59	52	43	154
10月	16	20	15	51	32	21	34	87	48	41	49	138
11月	10	21	13	44	35	20	35	90	45	41	48	134
12月	8	23	8	39	37	25	33	95	45	48	41	134
1月	11	24	9	44	34	26	25	85	45	50	34	129
2月	12	21	18	51	29	22	26	77	41	43	44	128
3月	4	15	7	26	19	19	10	48	23	34	17	74
合計	122	234	128	484	401	295	363	1,059	523	529	491	1,543
30年度	110	213	167	490	417	318	343	1,078	527	531	510	1,568
増減	12	21	-39	-6	-16	-23	20	-19	-4	-2	-19	-25

(単位:人数)

月	会議室等利用人数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	135	212	219	566	274	233	406	913	409	445	625	1,479
5月	120	175	153	448	517	466	418	1,401	637	641	571	1,849
6月	177	109	80	366	513	274	429	1,216	690	383	509	1,582
7月	92	211	217	520	554	250	345	1,149	646	461	562	1,669
8月	171	133	303	607	223	266	292	781	394	399	595	1,388
9月	119	195	55	369	495	346	377	1,218	614	541	432	1,587
10月	165	178	120	463	409	355	2,321	3,085	574	533	2,441	3,548
11月	91	180	246	517	461	282	437	1,180	552	462	683	1,697
12月	64	273	56	393	479	292	512	1,283	543	565	568	1,676
1月	101	226	136	463	380	218	328	926	481	444	464	1,389
2月	138	219	365	722	315	305	319	939	453	524	684	1,661
3月	37	104	91	232	139	120	101	360	176	224	192	592
合計	1,410	2,215	2,041	5,666	4,759	3,407	6,285	14,451	6,169	5,622	8,326	20,117
30年度	1,286	1,653	2,005	4,944	4,916	3,530	6,748	15,194	6,202	5,183	8,753	20,138
増減	124	562	36	722	-157	-123	-463	-743	-33	439	-427	-21

(3) 浴室、会議室等利用料収入

(単位：円)

月	券売機	回数券	小計	会議室	その他 公衆電話他	合 計	30 年度	増減
4月	633,300	101,000	734,300	60,900	420	795,620	785,170	10,450
5月	659,300	69,000	728,300	37,800	590	766,690	746,200	20,490
6月	589,100	54,000	643,100	28,500	490	672,090	726,200	-54,110
7月	747,200	70,000	817,200	41,800	380	859,380	873,930	-14,550
8月	787,100	73,000	860,100	34,100	430	894,630	858,250	36,380
9月	792,000	79,000	871,000	53,100	390	924,490	942,430	-17,940
10月	543,500	52,000	595,500	37,000	570	633,070	638,430	-5,360
11月	611,000	76,000	687,000	26,900	650	714,550	720,600	-6,050
12月	399,100	48,000	447,100	76,400	410	523,910	697,940	-174,030
1月	351,500	65,000	416,500	21,100	520	438,120	719,380	-281,260
2月	368,900	58,000	426,900	64,400	410	491,710	752,830	-261,120
3月	44,800	9,000	53,800	13,200	70	67,000	789,400	-722,400
合計	6,526,800	754,000	7,280,800	495,200	5,330	7,781,260	9,250,760	-1,469,500

※ 3 月度券売機・回数券の実績減は新型コロナウイルス感染症予防対策のため浴室・大広間を休業したため

※ 3 月度会議室利用減は新型コロナウイルス感染症予防対策のため利用料を返還したため

(4) 健康器具利用料収入

(単位：円)

月	カラオケ	セレクトレックス	マッサージ	合計	30 年度	増減
4月	114,300	47,800	21,600	183,700	184,800	-1,100
5月	110,500	50,000	22,600	183,100	195,300	-12,200
6月	103,100	41,000	19,100	163,200	185,300	-22,100
7月	95,800	45,200	26,900	167,900	197,400	-29,500
8月	101,000	45,200	32,300	178,500	196,000	-17,500
9月	98,200	49,600	32,000	179,800	192,700	-12,900
10月	88,400	44,600	26,300	159,300	157,600	1,700
11月	92,500	46,000	23,700	162,200	175,500	-13,300
12月	63,000	37,100	16,700	116,800	155,000	-38,200
1月	68,900	37,100	15,400	121,400	151,700	-30,300
2月	81,300	42,100	16,800	140,200	157,800	-17,600
3月	8,800	4,400	2,200	15,400	186,400	-171,000
合計	1,025,800	490,100	255,600	1,771,500	2,135,500	-364,000

4 (1)水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱量		燃料使用量
	電気 (単位: kwh)	上下水道 (単位: m ³)	A重油 (単位: L)
4月	18,121	0	6,000
5月	15,410	2,413	6,000
6月	15,815	0	6,000
7月	17,776	2,242	6,000
8月	26,003	0	4,000
9月	25,973	2,639	6,000
10月	19,917	0	6,000
11月	15,946	2,462	6,000
12月	17,371	0	4,000
1月	14,322	1,752	4,000
2月	18,244	0	2,000
3月	13,618	1,002	2,000
H31 合計	218,516	12,510	58,000
H30 合計	221,692	14,158	74,000
増 減	-3,176	-1,648	-16,000

(2) 水道光熱費・燃料費支出

(単位: 円)

月	水道光熱費					燃料費	合 計	30 年度	増減
	電 気	LP ガス	炭酸ガス	水 道	計	A 重油			
4月	357,228	49,308	93,312		499,848	628,560	1,128,408	1,155,502	-27,094
5月	295,043	53,260	81,648	560,660	990,611	641,520	1,632,131	1,529,425	102,706
6月	298,044	42,073	69,984		410,101	635,040	1,045,141	829,588	215,553
7月	338,300	38,130	104,976	522,290	1,003,696	635,040	1,638,736	1,622,912	15,824
8月	489,485	50,151	104,976		644,612	423,360	1,067,972	1,034,072	33,900
9月	480,679	45,777	93,312	614,290	1,234,058	615,600	1,849,658	1,797,704	51,954
10月	364,176	47,979	81,648		493,803	646,800	1,140,603	1,107,764	32,839
11月	294,020	44,405	69,984	575,460	983,869	640,200	1,624,069	1,822,235	-198,166
12月	314,721	48,871	46,656		410,248	426,800	837,048	1,069,055	-232,007
1月	265,474	43,156	23,328	418,260	750,218	431,200	1,181,418	1,524,864	-343,446
2月	325,292	48,827	34,992		409,111	215,600	624,711	1,141,496	-516,785
3月	253,391	50,246	11,664	242,660	557,961	211,200	769,161	1,837,773	-1,068,612
合計	4,075,853	562,183	816,480	2,933,620	8,388,136	6,150,920	14,539,056	16,472,390	-1,933,334
30 年度	4,387,661	572,189	999,216	3,289,440	9,248,506	7,223,884	16,472,390		
増減	-311,808	-10,006	-182,736	-355,820	-860,370	-1,072,964	-1,933,334		

5 修繕等実施状況（契約価格 10 万円以上）

（単位：円）

No.	項 目	金 額	内 容
1	ボランティアルーム玄関波屋根改修工事	378,000	経年劣化のため部材の張り替えを実施した。
2	1 階玄関前外天井取付型 LED 照明器具交換工事	125,400	既設照明器具の老朽化のため交換
3	1 階第 2 会議室空調機修繕工事	129,800	空調機不良ため機器修理
4	1 階ボイラー室、屋上エレベータ機械室鉄扉取替工事	984,500	鉄扉錆浸食のため開閉不良のため取替
5	浴室窓修繕工事	242,000	窓開閉オペレータ老朽による断線による開閉停止のため修理
6	非常用発電機スコットトランス更新工事	523,600	非常用発電機のスコットトランス耐用年数経過のため更新
7	手前男子浴室タイル補修工事	392,700	手前男子浴室タイルが炭酸泉による浸食剥離のため補修
8	3 階事務室等 LED 照明器具更新工事	874,500	3 階事務室等の照明器具老朽化と地球温暖化対策のため LED 照明に更新した。
9	3 階娯楽室・生活相談室・健康相談室クロス貼替工事	495,000	3 階和室のクロス老朽化による剥離顕著なため貼替した。

6 安全対策

(1) 福祉会館入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1 名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害	5 0 0 万円	会館利用者を対象とする。
入院日額	3, 0 0 0 円	事故の日から 180 日を限度とする。
通院日額	2, 0 0 0 円	事故の日から 180 日の間のうち、90 日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

区 分	実施日	参加者	内 容
危険物安全週間	6 月 1 0 日（月）	1 0 名	消火器・消火栓と避難誘導の確認。
救急訓練・通報訓練	7 月 1 日（月） 8 日（月）	1 3 名 （シルバー管理人、 健康相談員）	夜間営業に合わせて A E D 講習、通報訓練を実施。

地震防災訓練	8月25日(日)	10名	町総合防災訓練と連携し、施設避難誘導、ニコニコ水力発電充電電池運搬。
--------	----------	-----	------------------------------------

7 その他

(1) 浴室・大広間の営業時間の延長について（平成25年度から実施）

勤労者や家族、若年層等の利用促進を図るため、営業時間を延長した。

① 期 間 7月2日(火)から9月29日(日)

3月間（月曜日を除く、但し月曜日が祝日等の場合は実施）

② 延長時間 17時00分から20時30分（3時間30分）

③ 利用結果 (単位：人)

月	営業日	利用者数	1日 平均利用者	昨年度 1日平均利用者	増減
7月	27	1,042	39	42	-3
8月	28	1,389	50	44	6
9月	27	1,335	49	44	5
合計	82	3,766	46	43	3

(単位：人)

時間帯内訳	7月	8月	9月	合 計
16:30～17:00	185	212	235	632
17:00～17:30	169	232	249	650
17:30～18:00	146	175	230	551
18:00～18:30	159	237	235	631
18:30～19:00	169	233	180	582
19:00～19:30	214	300	206	720
合 計	1,042	1,389	1,335	3,766

夜間売上内訳	大人券 500円	高齢者 障害者 300円	子供 100円	短時間 200円	合計
7月利用人数	0	0	26	1,016	1,042
7月売上	0	0	2,600	203,200	205,800
8月利用人数	0	0	96	1,293	1,389
8月売上	0	0	9,600	258,600	268,200
9月利用人数	0	0	73	1,262	1,335
9月売上	0	0	7,300	252,400	259,700
7月～9月利用合計	0	0	195	3,571	3,766
売上合計	0	0	19,500	714,200	733,700

(2) 施設の無料開放について

① 県民の日

日 時	無 料	シニアクラブ	合 計
8月21日(水)	258人うち夜間(99人)	14人	272人

② 敬老の日

日 時	無 料(町内 65 歳以上)
9月16日(月)	68人うち夜間(19人)

(3) ボランティア

有志ボランティアの協力が施設周辺の環境整備、館内展示を図った。

活 動 内 容
①草刈り・植木剪定 ②絵手紙展示 ③折紙展示



(4) 順天堂大学保健看護学部実習受入

高齢者との関わりを通じて高齢者の加齢に伴う身体の変化とその生活を知り、健やかな老いについて考察する実習のため看護学生を受け入れた。

日付	午前 9 : 00～12 : 00	午後 13 : 00～16 : 00		人数
8 月 20 日 (火)	長泉音頭 & レクダンス	健康相談 利用者交流	まとめ	4 名
8 月 21 日 (水)	気功教室			4 名
8 月 22 日 (木)	フラダンスサークル			4 名
9 月 3 日 (火)	学び直し教室			4 名
9 月 4 日 (水)	気功教室			4 名
9 月 5 日 (木)	フラダンスサークル			4 名
合 計				24 名

(5) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

福社会館利用者の交流促進のため、効果的な運営に努めた。

事業内容	内 容
カラオケ	1日30曲～60曲程度
舞 踊	随時(空き時間を利用)
囲碁、将棋、卓球、オセロ	用具の貸し出し(随時)

② シニア趣味サークルへの支援

シニア世代の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため、事務的支援を行った。

サークル名	活 動 日	時 間	会 場
ダンスサークル	毎週土曜日	午後	2 階研修室
将棋サークル	第 1 ・ 3 火曜日	午後	2 階教養娯楽室 1
囲碁サークル	第 2 ・ 4 火曜日	午後	2 階研修室
表千家茶道サークル	第 1 ・ 3 木曜日	午前	2 階教養娯楽室 2
華道サークル（松風古流）	第 1 ・ 3 水曜日	午前	2 階教養娯楽室 2

③ 福祉会館利用高齢者に対する送迎の実施

高齢者相互の交流と健康の維持・増進を図り、福祉会館の利用を促進するため、町内の単位シニアクラブを対象としたマイクロバスによる送迎を行った。

・マイクロバス利用単位クラブ：24 クラブ中 17 クラブ／月 1 ～ 3 回

(6) デマンド型交通実証実験のための停留所設置

高齢者の日常生活上必要な移動を支援する新たな交通手段の導入に向けた実証実験として、竹原・本宿地区デマンド乗合タクシー用の停留所が福祉会館 3 階玄関前に設置された。

（令和元年 10 月 1 日～）



(7) 福祉会館駐車場整備事業（第 6 駐車場）

福祉会館第 5 駐車場の西側の空き地を第 6 駐車場として整備された。

（期間：5 月 30 日～9 月 13 日）



(8) 福祉会館奥側浴室改修工事

老朽化した 3 階奥側浴室をリニューアルし、ミストサウナ、シャワーを導入したほか、壁面・床面タイル等を貼り替えられた。

（期間：10 月 31 日～令和 2 年 3 月 19 日）



(9) 浴室及び大広間の利用料変更について

浴室利用者等を対象としたアンケート調査において強い要望を受けている夜間営業期間の延長を図るため、浴室・大広間の利用料の料金変更について町と協議し承認された。（施行日 令和 2 年 4 月 1 日）

・短時間利用料 従前：2 時間 200 円⇒変更後：2 時間 300 円

【事業の成果】

本年度は、町実施事業として、第6駐車場の整備、奥側浴室リニューアルによる工事が続いたなか、高齢者福祉施設として地域諸団体と連携するとともに福祉関係団体等、特に高齢者団体にとって利用しやすい施設経営に努めた。

また、指定管理の更新申請手続において、従来から利用者から要望の強かった夜間営業期間の延長を実現する提案が評価され、4期目の管理者として指定された。

（次期指定期間：5年間 令和2年4月1日～令和7年3月31日）

今後については、シニアクラブを中心とした地域の高齢者、ボランティア等福祉関係団体の意向を踏まえつつ、新たなシニア世代の要望など調査するとともに、老人福祉センター、地域福祉センターとして期待される施設機能を十分に活かす経営の企画立案・調整を図りながら町との協議を通じて、良質なサービスの提供、良質な施設維持管理に努めていきたい。

3 介護サービス事業

3-1 居宅介護支援事業

1 事業概要

要介護、要支援、事業対象者と認定された利用者に心身の状況や希望、生活課題を考慮して居宅サービス計画を作成し、本人及び家族の支援を行う。

介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう医療と連携を図り、居宅サービス事業所等の連絡調整、並びに居宅サービスの給付管理を実施する。

2 事業内容

(1) 各種申請に関すること

- ① 要介護・要支援認定（新規、更新、区分変更）、② 福祉サービス等の利用申請
- ③ その他、必要な制度利用の申請

(2) ケアプランの作成に関すること

- ① 居宅サービス計画の作成及び計画後の管理、② 利用者状況の把握
- ③ サービスの実施状況の把握、④ 関係機関との連絡調整

(3) 地域包括ケアシステムの実現とサービスの質の向上について

- ① 地域で支え合う仕組みづくりが推進されるよう各種会議や研修会へ出席
- ② 事業所内での定例の会議や勉強会の開催

3 利用状況

(1) 居宅サービス計画作成件数

月	居宅介護支援件数						介護予防支援件数				月別 合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要支援 1	要支援 2	総合 事業	計	
4月	21	27	16	10	8	82	6	14	1	21	103
5月	24	26	16	11	8	85	6	16	1	23	108
6月	24	26	18	11	7	86	8	16	1	25	111
7月	28	25	19	10	5	87	8	18	2	28	115
8月	28	28	20	11	6	93	7	21	3	31	124
9月	31	27	18	12	6	94	10	22	3	35	129
10月	30	29	17	13	8	97	10	22	2	34	131
11月	30	29	17	13	7	96	11	23	2	36	132
12月	31	26	18	11	8	94	11	22	4	37	131
1月	31	24	18	11	8	92	11	24	5	40	132
2月	31	23	18	10	6	88	10	22	5	37	125
3月	30	25	16	12	6	89	12	23	6	41	130
R1 合計	339	315	211	135	83	1,083	110	243	35	388	1,471
H30 合計	328	347	224	99	101	1,099	104	134	21	259	1,358
増減	11	△32	△13	36	△18	△16	6	109	14	129	113

(2) 加算・減算の状況

	加 算						減 算	
	初回	退院 退所	入院	ターミナ ルケア	特事Ⅲ	特事Ⅱ	運営	集中
4 月	0	0	0	0	82	0	0	0
5 月	3	1	0	0	85	0	0	0
6 月	2	2	0	0	86	0	0	0
7 月	5	1	2	0	0	87	0	0
8 月	5	2	1	0	0	93	0	0
9 月	3	0	1	0	0	94	0	0
10 月	1	2	0	0	0	97	0	0
11 月	5	2	1	0	0	96	0	0
12 月	1	1	1	0	0	94	0	0
1 月	6	0	0	0	0	92	0	0
2 月	3	0	0	0	0	88	0	0
3 月	5	1	1	0	0	89	0	0
R1 合計	39	12	7	0	253	830	0	0
H30 合計	25	5	6	0	1,099	0	0	0
増 減	14	7	1	0	△846	830	0	0

4 居宅介護支援実績

	介護実績	支援実績	新規受入れ	終了者
R1 合計	1, 0 8 3	3 8 8	5 1	2 8
H30 合計	1, 0 9 9	2 5 9	2 9	2 3
増 減	△ 1 6	1 2 9	2 2	5

5 研修・会議

- (1) 所内ケアマネ定例会議：毎週 1 回
- (2) 主任介護支援専門員会議：年 4 回（4/11、6/11、11/20、3/12）
- (3) 長泉町介護支援専門員初任者研修：全 10 回
- (4) 事例検討会：2 回（5/14、5/17）
- (5) わくわくケア～の会：5 回（5/17、7/10、9/5、11/13、1/8）
- (6) その他、業務遂行に必要な会議、研修

【事業の成果】

職員体制を 3 名から 4 名に増員し、それに伴い利用者総数は昨年より増加した。地域包括支援センターからの依頼による要支援者の利用者増加が顕著であるが、中重度の要介護者の施設入所や長期入院等による支援終了も増加している。

今年度は、地域包括支援センターや近隣の居宅介護支援事業所と共に、「わくわくケア～の会」という事例検討会・勉強会の場を立ち上げることができた。この会の活動を通じ、ケアマネジャー自身のスキルアップや居宅介護支援事業所間の横のつながりを構築し、協働して「誰もが住みよい町」の実現に貢献していきたい。

3-2 指定通所介護事業

1 事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、また利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るために必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な支援を行う。

定員 通所介護、介護予防通所介護（合計）25人/日

2 職員の概要

R2.3.31 現在

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
1 管理者	1	0	1
2 生活相談員	1	1	1.2
3 介護職員	2	4	2.7
4 看護職員	0	3	1.2
5 機能訓練指導員(兼務)	(0)	(3)	(1.2)

3 営業時間

営業日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで (送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導、② 日常生活動作訓練、③ 介護サービス、④ 送迎サービス
⑤ 健康状態の確認、⑥ 給食サービス、⑦ 入浴サービス、⑧ 介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練

5 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 介護保険施設等実地指導

- ① 日 時 6月26日(水)
② 実施結果 文書指導事項 なし 助言事項 なし

6 利用状況

(1) 指定通所介護(通介)、介護予防通所介護(予通) (一体的に実施)

	開所日数	登録者数		利用延人数		主 な 行 事 等
		通介	予通	通介	予通	
4 月	26	34	5	351	34	外出行事(いちご狩り)
5 月	27	35	5	360	41	健康体操、喫茶、お話広場
6 月	25	36	5	333	33	多肉植物寄せ植え
7 月	27	33	5	362	31	七夕、納涼祭、防災訓練 トーンチャイム演奏会
8 月	27	32	5	357	21	健康体操、喫茶、お話広場
9 月	25	32	3	343	19	敬朗会(幼稚園児交流)、 小学生ふれあい交流事前見学
10 月	26	31	4	363	32	小学生ふれあい交流
11 月	26	30	4	368	29	三島楽寿園(菊花展) 散策
12 月	23	31	3	338	20	クリスマス会、餅つき
1 月	23	30	3	307	20	初詣(三嶋大社)
2 月	25	31	3	340	19	節分
3 月	26	32	3	376	23	ひな祭り
R1 合計	306	387	48	4,198	322	
H30 合計	307	370	57	3,987	380	
増 減	△1	17	△9	211	△58	



【いちご狩り】



【防災訓練】



【納涼祭】



【敬朗会】



【餅つき大会】



【クリスマス会】



【初詣】



【節分】

7 令和元年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室等の装飾
(新緑、花、海、干支・絵馬、節句、七夕、花火)
- (2) 園芸(花・野菜)
- (3) 敬朗会 (園児プレゼント作成)
- (4) 餅つき大会参加

8 ボランティアの協力

(1) 各種プログラム活動

内容・団体名等	活動頻度
喫茶サービス	偶 数 月
ハンドマッサージ	毎 月
お話広場（読み聞かせ）	毎 月
ハーモニカ演奏会鑑賞	毎 月
傾聴ボランティア ふらっと	毎 月
健康体操・マッサージボランティア	毎 月

(2) 活動支援ボランティア受入状況

受入月	給食ボランティア		行事・活動支援	合 計
	団 体	個 人		
4 月	36	19	21	76
5 月	24	27	18	69
6 月	23	23	22	68
7 月	17	28	20	65
8 月	17	6	21	44
9 月	17	19	11	47
10 月	16	27	15	58
11 月	17	24	20	61
12 月	14	14	35	63
1 月	22	15	12	49
2 月	12	23	15	50
3 月	9	23	0	32
R1 合計	224	248	210	982
H30 合計	325	301	349	975
増 減	△101	△53	△139	△293



【トーンチャイム演奏】



【ハンドマッサージ】

【活動支援ボランティア団体名】 11 団体

傾聴ボランティアふらっと、こどもの本とお話の会、大正琴倶楽部、
長泉ボランティア、長泉町女性会、民児協地域福祉部会、沖縄三線かりゆし、
マッサージ・ハンドマッサージボランティア、ホーム喫茶ボランティア、
ハーモニカボランティア、ヴァイオリンクラブサウンドガーデン

9 福祉教育・介護実習受け入れ状況

認知症対応型通所介護事業と合同で、福祉体験学習・介護実習生の受け入れを行った。

(1) 体験学習

受入期間	体験学習依頼団体	内 容	人 数
7 月 29～31 日	静岡県社会福祉 人材センター	職場体験	1 名
8 月 30 日・9 月 2 日	長泉小学校	ふれあい交流 事前施設見学	171 名
10 月 9. 10. 15. 18. 21 日	長泉小学校	ふれあい交流	167 名
2 月 13. 14. 18. 19. 20. 21 日	長泉町行政課	新規採用職員体験実習	12 名
合 計			351 名

(2) 実習生受け入れ

受入期間	学校名	内 容	人 数
4 月 15 日～4 月 19 日	知徳高校 3 年	介護体験実習	4
5 月 27 日～5 月 31 日	知徳高校 2 年	介護体験実習	4
6 月 17 日～9 月 21 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	4
9 月 2 日～9 月 6 日	知徳高校 2 年	介護体験実習	4
9 月 9 日～ 9 月 13 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	4
11 月 5 日～11 月 15 日	知徳高校 2 年	介護体験実習	3
12 月 13 日～12 月 26 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	14
合 計			37 名

【事業の成果】

新規の利用者 8 名、利用終了者 8 名、全体での延べ利用者数は、曜日利用者増により前年比で 153 名の増加となった。

事業所として、より質の高いケアを提供するために、外部研修に参加した職員が中心となり内部研修等を実施した。利用者支援としては、末永く在宅生活を過ごすことが出来るよう、利用者と共に声掛けをしながら生活リハビリを主とする健康体操等に力を入れた。

新型コロナウイルス感染症対策として、事業所内で検討した対策を徹底して実施している。

3-3 指定認知症対応型通所介護事業

1 事業概要

市町村が事業者の指定及び監督を行う地域密着型サービスの指定を受けている。認知症高齢者への通所介護サービスおよび介護者への支援をもって、在宅生活の継続支援を行う。

定 員 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護（合計）12人/日

2 職員の概要

R2.3.31 現在

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
1 管理者	1	0	0.8
2 生活相談員	1	1	1.2
3 介護職員	1	1	1.5
4 看護職員	0	3	1.2
5 機能訓練指導員(兼務)	(1)	(1)	(1.2)

3 営業時間

営業日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで (送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導、② 日常生活動作訓練、③ 介護サービス、④ 送迎サービス
⑤ 健康状態の確認、⑥ 給食サービス、⑦ 入浴サービス、⑧ 介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練

5 運営推進会議実施状況

(1) 第1回

- ・ 日 時 7月30日(火)
- ・ 参加人数 外部評価者2名 家族利用者関係2名 内部2名
- ・ 評価・意見 課題や状況を確認し相互で相談連絡をすることが大切である。

(2) 第2回

- ・ 3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、保険者の指導もあり開催中止となる。

6 利用状況

	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4 月	26	13	134	外出行事（いちご狩り）
5 月	27	16	139	健康体操、喫茶、お話広場
6 月	25	17	164	園芸（花・野菜）
7 月	27	16	160	七夕、納涼祭、防災訓練 トーンチャイム演奏会
8 月	27	16	179	健康体操、喫茶、お話広場
9 月	25	16	181	敬朗会（幼稚園児交流） 小学生ふれあい交流事前見学
10 月	26	17	174	小学生ふれあい交流
11 月	26	17	163	三島楽寿園（菊花展）散策
12 月	23	14	136	クリスマス会・餅つき
1 月	23	14	113	初詣（三嶋大社）
2 月	25	14	133	節分
3 月	26	15	133	ひな祭り
R1 合計	306	185	1,809	
H30 合計	307	147	1,602	
増減	△1	38	207	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

7 内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
7 月 9 日	認知症の人に寄り添う介護について 介助方法について	7 名
8 月 9 日	認知症ケアの基本視点と理念について	6 名
1 月 27 日	認知症サポーター養成講座事前準備 事例検討・アンケート	6 名
2 月 6 日	認知症サポーター養成講座	4 名
2 月 21 日	認知症サポーター養成講座 アンケート	4 名

8 令和元年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室装飾（桜、新緑、あじさい、こいのぼり、海、祭り）
- (2) 園芸活動（花、野菜）
- (3) 裁縫（雑巾、袋作り・小物入れ）

9 ボランティアの協力、福祉教育・介護実習受け入れ状況及び活動内容に関しては、指定通所介護事業に記載している。

【事業の成果】

新規利用者 10 名、利用終了者 9 名、全体での延べ利用者数は前年比で 207 名の増加となっている。

職員研修については、外部研修として、認知症の中核症状・周辺症状を理解し、利用者に対する接し方を学ぶことを目的として参加させ、後日、事業所内において伝達研修を実施した。研修を行うことで、認知症に対する正しい理解を深め、職員が共通認識のもとチームケアを行うことで認知症の予防や進行の遅延を目的とした利用者支援に取り組むことができた。

利用者の心情に問いかけ、コミュニケーション若しくは非言語コミュニケーションによる交流を図るとともに、更に、手芸やレクリエーション活動を通して、一人ひとりの利用者にあった役割づくりをし、達成感を持つことでデイサービスが安心した居場所となるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、指定通所介護事業と同様の対策をしているが、居室環境においては、利用人数が少数のため対面にならない工夫をしている。

3-4 指定訪問介護事業

1 事業概要

要介護者等の介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資することを目的として心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介助、② 排泄の介助、③ 食事の介助、④ 衣類着脱の介助
⑤ 清拭、⑥ その他必要な身体介護

(2) 生活援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯、補修、③ 住居等の掃除、整理整頓
④ 生活必需品の買物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 混合型（①身体介護、②生活援助）

3 利用状況

利用者数・派遣延べ時間

(単位：人・時間)

	訪問介護					総合事業		総合計	
	利用者数 (人)	身体 (時間)	混合 (時間)	生活 (時間)	計 (時間)	利用者 数 (人)	派遣時間(時 間)	総利用者数 (人)	総派遣時間 (時間)
4月	18	98.5	186.5	2.5	287.5	15	77.0	33	364.5
5月	17	83.5	204.0	3.5	291.0	16	86.0	33	377.0
6月	18	94.5	183.0	3.0	280.5	16	85.0	34	365.5
7月	18	111.5	200.0	4.0	315.5	16	86.0	34	401.5
8月	17	110.0	196.5	2.5	309.0	16	85.0	33	394.0
9月	18	102.5	201.0	10.0	313.5	16	88.0	34	401.5
10月	18	113.0	221.0	12.0	346.0	16	94.0	34	440.0
11月	17	104.5	195.0	12.5	312.0	16	90.0	33	402.0
12月	19	105.0	179.0	14.0	298.0	15	82.0	34	380.0
1月	19	96.5	206.0	9.0	311.5	15	85.0	34	396.5
2月	19	94.0	184.5	15.5	294.0	17	105.0	36	399.0
3月	19	103.0	237.5	15.5	356.0	17	107.0	36	463.0
R1 合計	217	1,216.5	2,394.0	104.0	3,714.5	191	1,070.0	408	4,784.5
H30 合計	213	1,009.0	2,330.5	69.5	3,409.0	178	903.0	391	4,312.0
増減	4	207.5	63.5	34.5	305.5	13	167	17	472.5

4 ヘルパー内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
4月13日	介護に関する体の仕組みの基礎知識① 骨・筋肉・関節などの仕組みについて	14名
5月11日	介護食の作り方と献立/消費者被害について/基礎知識「認知」を考える	14名
6月8日	精神疾患の基礎知識（伝達研修）個人情報、実施指導について	14名
7月13日	感染対策、食品衛生について ヘルパーLINEについて	13名
8月10日	緊急時、体調管理について 事故報告とヒヤリハット書式について	12名
9月14日	高齢者のフィジカルアセスメントについて	13名
10月6日	初めての看取り大切な時間の過ごし方 シンポジウムに参加	12名
11月16日	倫理・法令・接遇マナーについて	10名
12月14日	家に居たい気持ちに寄り添って、楽しい時間と 穏やかな最期を迎えるために…シンポジウム参加	12名
1月18日	伝達研修、新規採用ヘルパー紹介、業務について	15名
2月8日	感染症対策（新型コロナウイルス、疥癬、ノロウイルス、インフルエンザ）	15名
3月7日	新型コロナウイルス対策について	16名

5 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 介護保険施設等実地指導

① 日 時 6月26日（水） 実施結果 指導事項 なし

6 その他

静岡県ホームヘルパー連絡協議会の役員として研修に参加し、駿東圏域の医療、福祉、介護の団体等で構成する地域包括ケア推進ネットワークメンバーとして活動した。

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、多くの研修が中止になり、3月のヘルパー研修も三密を避けるためライン上での研修を行った。

訪問介護員も不要不急の外出の自粛を行い、自己への感染を回避するようマスクの着用、手洗い、アルコール消毒を徹底している。更に、3月より利用者訪問時は、必ず体温測定、体調確認を行った。一人暮らしの高齢者、高齢者世帯の利用者の在宅生活が継続できるよう必要な支援を継続している。

今般、在宅での看取りを希望する利用者や家族も増加傾向にあり、2名の終末期ケアを行った。

3-5 障害福祉サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

1 事業概要

身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる必要な援助を行う。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介護、② 排泄の介護、③ 食事の介護、④ 衣類着脱の介護、⑤ 身体の清拭
⑥ 外出時の介助、⑦ その他必要な身体介護

(2) 家事援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯や補修、③ 住居等の掃除や整理整頓、④ 生活必需品の買い物
⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 相談及び助言に関すること

- ① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

(単位：人・時間)

	身体障害者				知的障害者				精神障害者				合計		
	利用 者数	派遣 回数	派遣時間		利用 者数	派遣 回数	派遣時間		利用 者数	派遣 回数	派遣時間		利用 者数	派遣 回数	派遣 時間
			身体	家事			身体	家事			身体	家事			
4月	15	251	273.0	43.0	7	17	5.0	13.5	8	29	7.0	34.5	30	297	376.0
5月	16	229	261.5	39.0	7	15	4.5	13.0	8	33	8.5	38.0	31	277	364.5
6月	16	217	276.5	38.5	7	17	6.5	11.0	8	30	7.0	35.5	31	264	375.0
7月	17	235	274.5	52.5	8	21	6.5	16.0	8	34	8.5	40.0	33	290	398.0
8月	18	228	280.5	55.0	6	22	6.5	16.0	8	29	9.0	33.5	32	279	400.5
9月	17	225	302.0	53.0	9	22	6.5	17.0	8	29	9.0	35.0	34	276	422.5
10月	17	270	301.5	55.0	6	21	4.5	18.5	7	29	7.0	32.5	30	320	419.0
11月	17	260	287.0	53.5	8	25	7.0	17.5	8	39	12.5	36.0	33	324	413.5
12月	17	276	287.5	48.0	10	23	6.0	20.0	8	34	8.0	36.0	35	333	405.5
1月	17	248	251.0	54.0	9	21	6.0	16.0	8	29	8.0	34.5	34	298	369.5
2月	17	249	292.5	42.5	7	22	8.0	15.5	7	27	8.0	32.0	31	298	398.5
3月	17	287	282.0	50.0	7	22	7.5	16.5	8	32	10.5	35.5	32	341	402.0
R1 合計	201	2,975	3,369.5	584.0	91	248	74.5	190.5	94	374	103.0	423.0	386	3,597	4,744.5
H30 合計	191	2,947	3,444.5	540.0	83	270	78.0	229.0	86	332	54.5	412.0	360	3,549	4,758.0
増減	10	28	△75	44	8	△22	△3.5	△38.5	8	42	48.5	11	26	48	△13.5

【事業の成果】

今年度、職員を増員し支援を行った。同行援護の長時間の支援を希望される利用者も増加し、新規の受け入れ等も相談支援事業所、長泉町福祉保険課と連携を図りながら支援に努めた。

3-6 移動支援事業

1 事業概要

屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤通学等常時利用する場合は対象外となる。

2 事業内容

(1) 移動介助に関すること

① 通院等の介助、② 社会参加等の移動支援

(2) 相談及び助言に関すること

① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	7	10	22.0
5月	6	8	19.0
6月	6	9	23.0
7月	6	11	26.5
8月	8	15	46.0
9月	8	10	25.5
10月	7	11	30.5
11月	6	9	20.5
12月	8	13	33.5
1月	5	8	20.5
2月	6	9	26.0
3月	4	9	26.5
R1 合計	77	122	319.5
H30 合計	51	88	179.5
増 減	26	34	140.0

4 その他

長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会に参加した。

【事業の成果】

児童から高齢者までの幅広い利用者に対して、個々のニーズに合った支援を提供した。移動支援ニーズも年々増加しているので、体制整備を図っていく。

3—7 地域活動支援センター事業（長泉町受託事業）

1 事業概要

障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的としている。

利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、買物、食事の支度など）の促進を図る。特に同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、歩行や軽スポーツによる体力向上、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう、障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践する。

2 事業内容

- ① 創作的活動事業（趣味・余暇活動）、② 社会適応訓練（外出訓練）
③ 機能訓練、④ 給食サービス、⑤ 入浴サービス、⑥ 送迎サービス

3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	20	16	73	いちご狩り、親睦会（外食）
5月	19	16	75	鯉のぼりの壁画作り
6月	20	16	76	ふくろう新緑版の壁画づくり
7月	22	16	71	七夕の飾り作り、短冊飾りつけ
8月	21	16	83	大人の社会科見学、親睦会（外食）
9月	19	16	68	秋の味覚壁画作り
10月	21	17	60	ハロウィン
11月	20	17	55	雪だるまの壁画作り
12月	20	17	76	餅つき大会
1月	19	17	71	書初め
2月	18	17	67	節分
3月	21	17	61	桜の壁画作り
R1 合計	240	198	836	
H30 合計	244	198	914	
増減	△4	0	△78	

4 活動報告

- (1) 外出訓練：いちご狩り「大富農園」、社会科見学「かねふくめんたいパーク」、親睦会に食事会
- (2) 趣味活動：書道、パズル、カードゲーム
- (3) 創作活動：各月のクラフト、壁装飾作品
- (4) 運動療法的活動：歩行訓練、健康体操、卓球
- (5) 作業療法的活動：脳トレ、アイロンビーズ、編み物み、スキルビーズ

【事業の成果】

利用者 1 名の怪我による入院により、2、3 月の利用延人数が減少した。

新型コロナウイルス感染症対策として、予定日外利用の制限、送迎前検温の実施、到着時の手洗い消毒、居室及び送迎車の換気等を徹底した。1 日の最大利用人数は 4 名で、利用者同士の距離は保たれている。

Ⅱ 公益事業

1 在宅福祉総合センター

1－1 在宅福祉総合センター事業（長泉町指定管理事業）

1 事業目的

在宅福祉総合センターいずみの郷は、在宅で援護を必要とする高齢者や障がい者に、総合的なサービスを提供する設備を整備し、既存の福祉会館と連携し、町の福祉の拠点として設置された施設である。本会は町の指定管理者として、施設利用による住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を月曜日から土曜日まで開館し、各種団体の会議や研修会等に施設を提供した。

2 管理業務の状況

(1) 総合清掃管理業務

① 日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

床面清掃・吸殻処理・紙くず処理・什器備品の除塵・トイレ清掃・給湯室・扉・浴室床面・浴槽・駐車場、外周・タイル、カーペット・施設内設備等

② 定期清掃（年1回～6回）

長尺塩ビシート、リリウム床シート、ビニール床タイル・フローリング・窓ガラス（年6回）
タイル、カーペット、厨房内清掃（年2回）

床面剥離洗浄清掃、アルミカーテンウォール清掃（年1回）

(2) 総合設備管理業務

① 施設巡回保守点検業務

② 空調設備保守点検業務

③ 給水設備保守点検業務

④ 排水設備保守点検業務

⑤ 消防設備保守点検業務

⑥ 昇降機設備保守点検業務

⑦ 自動扉設備保守点検業務

(3) 衛生管理業務

① 室内空気環境測定業務

② 害虫等防除業務

③ 貯水槽清掃及び水質検査業務

(4) 湯水（レジオネラ菌）検査

(5) 夜間機械警備業務（毎日）

(6) 電気保安業務（月1回）

3 施設利用状況

(1) 会議室等件数・利用率及び利用料収入

月	集会室		研修室		貸館利用料 収入 (単位：円)
	件数 (単位：件)		件数 (単位：件)		
	有料	無料	有料	無料	
4 月	15	13	0	9	10,000
5 月	8	17	4	4	10,000
6 月	12	9	3	6	36,800
7 月	14	14	5	4	9,600
8 月	12	12	0	6	18,000
9 月	8	13	3	8	30,400
10 月	15	13	1	10	22,800
11 月	13	9	2	9	17,600
12 月	11	15	1	9	24,000
1 月	17	11	0	4	43,600
2 月	12	11	0	6	22,000
3 月	12	5	0	4	24,000
合計	149	142	19	79	268,800
H30 年度	131	222	3	141	268,800
増減	18	△80	16	△62	0

※夜間貸出なし。貸館利用料収入は、翌月以降の利用料金を含む。

(2) 長泉町在宅福祉総合センター利用者数

(単位:人)

月	開所 日数	集会室			研修室			合 計
		有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	
4 月	26	138	599	737	0	61	61	798
5 月	27	239	439	678	68	42	110	788
6 月	25	354	232	586	55	97	152	738
7 月	27	402	305	707	65	48	113	820
8 月	27	191	225	416	0	75	75	491
9 月	25	127	529	656	25	165	190	846
10 月	27	235	621	856	11	110	121	977
11 月	26	158	351	509	21	89	110	619
12 月	23	157	499	656	7	139	146	802
1 月	23	403	332	735	0	53	53	788
2 月	25	128	418	546	0	82	82	628
3 月	26	129	45	174	0	54	54	228
合計	307	2,661	4,595	7,256	252	1,015	1,267	8,523
H30 年度	307	2,486	5,514	8,000	24	1,257	1,281	9,281
増減	0	175	△919	△744	228	△242	△14	△758

4 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱使用量			燃料使用量	水道光熱費 (単位：円)	燃料費 (単位：円)
	電 気 (単位：kwh)	都市ガス (単位m ³)	上下水道 (単位m ³)	白灯油 (単位：L)		
4 月	21,312			4,000	454,124	427,680
5 月	20,092		2,651	7,500	737,546	803,790
6 月	20,327			6,000	411,877	635,040
7 月	18,751		3,174	2,000	778,892	209,520
8 月	21,720			6,000	450,953	628,560
9 月	21,836		3,749	8,000	895,282	822,960
10 月	21,313			4,000	410,389	417,420
11 月	17,284	507	3,395	2,000	806,078	207,900
12 月	19,453	1,531		2,000	555,607	211,200
1 月	18,506	1,672	2,041	2,000	805,786	213,400
2 月	23,393	1,970		4,000	649,680	432,300
3 月	19,369	2,588	2,308	2,000	925,417	212,300
R1 合計	243,356	8,268	17,318	49,500	7,881,631	5,222,070
H30 合計	262,451	—	15,577	54,500	7,298,020	5,746,681

○水道光熱費・燃料費については、各サービス区分にて面積按分を行っている。

5 安全対策

(1) 在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害	500万円	施設利用者を対象とする。
入院日額	3,000円	事故の日から180日を限度とする。
通院日額	2,000円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

① 危険物安全週間における訓練

実施日：7月12日（金）

参加者：職員18名、利用者11名

内 容：避難経路確認・救急訓練・通報訓練、館内消火器、消火栓配置確認訓練を実施。

② 地震防災訓練

実施日：8月25日（日）8時15分から12時15分まで

参加者：職員12名（社会福祉業議会職員10名、町配備職員2名）

訓練内容：地震想定（平日勤務中、突発的に地震が発生）説明後、火元責任者による安全確認。発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底。福祉避難所設営訓練。パーテーション、簡易ベッド設置訓練。福祉避難所受入訓練。災害時備蓄品確認等。

【事業の成果】

本年度は、町実施事業として浴室給湯設備の燃料を灯油から都市ガスへの切替工事を行った。水道光熱費及び燃料費の変動に注意しながら、今後も経費節減による経営の安定に努めていく。

貸館利用者数は、有料利用団体の利用件数の前年同期比で増加している傾向がみられていたが、新型コロナウイルス感染症対策として2月末からの新規予約利用中止、閉館、団体からのキャンセルが影響し、利用者数は減少に転じた。

今後、再開に向けて施設の維持管理を行い、「使い心地」「サービスの質の向上」に向け施設利用率を維持できるよう取り組んで行く。

1―2 在宅福祉総合センター食堂事業

1 事業目的

在宅福祉総合センター食堂事業は、一般食堂及びデイサービスの給食を提供している。

また、地域福祉活動におけるボランティアの活動拠点としての役割があり、ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」の食事づくりや地域住民の憩いの場としての役割も果たしている。

2 一般食堂食数内訳及び売上金収入

月	定食	カレー・ 麺類他	惣菜	仲良会	調理員 昼食	相談員 検食	給食 ボランティア	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)	サービスケット 利用者延人数 (単位：校)
4 月	212	9	737	113	26	26	55	1,178	320,590	0
5 月	245	7	870	100	25	27	51	1,325	341,575	1
6 月	219	10	744	103	23	25	46	1,170	318,695	2
7 月	252	11	762	—	25	27	55	1,132	266,475	2
8 月	228	7	489	—	25	27	23	799	207,525	3
9 月	230	7	606	114	24	24	36	1,041	314,010	1
10 月	235	15	631	—	26	26	43	976	280,242	0
11 月	209	10	625	110	24	26	54	1,058	308,010	0
12 月	161	16	441	—	23	23	28	692	185,295	2
1 月	174	5	553	117	20	23	50	942	282,800	1
2 月	168	6	522	120	23	25	54	918	286,195	3
3 月	32	2	48	—	23	26	32	163	65,895	0
R1 合計	2,365	105	7,028	777	287	305	527	11,394	3,177,307	15
H30 合計	2,314	169	7,516	825	291	304	626	12,045	3,428,385	100
増減	51	△64	△488	△48	△4	1	△99	△651	△251,078	△85

3 デイサービス給食売上食数内訳及び売上金収入

月	通所介護 事業 (単位：食)	認知症対応型 通所介護事業 (単位：食)	地域活動 支援センター (単位：食)	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)
4 月	380	134	71	585	380,250
5 月	401	139	73	613	398,450
6 月	363	164	73	600	390,000
7 月	392	160	71	623	404,950
8 月	377	178	79	634	412,100
9 月	360	181	64	605	393,250
10 月	392	174	57	623	404,950
11 月	394	163	52	609	395,850
12 月	354	132	74	560	364,000
1 月	323	113	67	503	326,950
2 月	361	133	65	559	363,350
3 月	399	133	59	591	384,150
R1 合計	4,496	1,804	805	7,105	4,618,250
H30 合計	4,314	1,602	875	6,791	4,414,150
増減	182	202	△70	314	204,100

4 給食ボランティア参加状況

(単位：人)

月	団 体	個 人	合 計
4 月	36	19	55
5 月	24	27	51
6 月	23	23	46
7 月	17	28	45
8 月	6	17	23
9 月	17	19	36
10 月	16	27	43
11 月	17	24	41
12 月	14	14	28
1 月	22	15	37
2 月	17	24	41
3 月	9	23	32
R1 合計	218	260	478
H30 合計	325	301	626
増減	△107	△41	△148

5 給食ボランティア登録者数

(単位：人)

年 度	団体登録者数	個人登録者数	合 計
R1	19	17	36
H30	19	27	46

給食ボランティア団体名

みちの会・木苺の会・愛護の会・なでしこの会・ホーム喫茶ボランティア

6 実習生受け入れ

受入期間	実習依頼団体	内 容	人 数
8 月 19 日～23 日	日本大学短期大学部	食物学科実習	3
9 月 9 日～13 日	日本大学短期大学部	食物学科実習	3

【事業の成果】

一般食堂収入においては売上げが上半期は増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症対策による閉館にあわせて食堂を休業したため、売上は減少となった。再開時には、固定客や施設利用団体等へPRに努め、利用促進に繋げたい。

また、デイサービス給食収入においては利用者増による収入増となった。

